

1. 名詞の性と数

① 男性名詞と女性名詞

名詞の「性」とは文法上の約束事で、形式的な分類である。ポルトガル語には男性名詞と女性名詞があるが、文法的な性と単語の意味の間には有縁的な関係はない。しかし、意味の上で「自然性」を考えられるものでは、単語の性と意味上の自然性が一致することがある。名詞によって、意味上の性に従って形を変えるものがある一方、形は同じでも意味に応じて男性名詞、女性名詞と性を変える「通性名詞」とでも呼べるものがある。辞書では、名詞の性は必ず示されている。

男性名詞:ano「年」 dia「日」 tempo「時間, 天気」 problema「問題」
trabalho「仕事, 作業」 exemplo「例, 見本」 filho「息子」 pai「父」
女性名詞:coisa「事, 物」 pessoa「人」 casa「家」 gente「人々」
maneira「流儀, 方法」 parte「部分」 vida「生活, 人生」 hora「時」

◆ 語形と名詞の性 -o と -a

ポルトガル語では語形と名詞の性の間に必然的な関係は存在しないが、一般的な傾向を述べることはできる。

◆ 文法性と自然性, 通性名詞

「性」を有する生き物を示す名詞における文法性のあり方は多様である。

- i) homem「男」 mulher「女, 妻」 menino「男の子」 menina「女の子」
filho filha「娘」 pai mãe「母」 professor「教師」 professora「女教師」
mestre「教師」 mestra「女教師」 cozinheiro「料理人」 cozinheira
boi「雄牛」 vaca「雌牛」 bode「雄ヤギ」 cabra「雌ヤギ」
- ii) cão「犬」 (cachorro) (cadela) gato「猫」 (gata) barata「ゴキブリ」
- iii) vítima「被害者」 pessoa criança「子供」
- iv) artista「芸術家」 pianista motorista「運転手」 dentista「歯医者」
jovem「若者」 colega「同僚」 gerente「管理人」 estudante「学生」

② 名詞の数変化, 単数形と複数形

「数」も名詞の文法的カテゴリーであるが、こちらは「性」とちがいで指示対象が一つか、二つ以上であるかという意味上の区別である。単数形が基本形で、複数形は対象が二つ以上であることが明らかな場合に用いられる。単語によっては集合名詞的に単数形が用いられたり(例: gente「人々, 私たち」), 複数形しか用いられないような単語も存在する(例: núpcias「婚姻」, suspensórios「ズボン吊り」)。

◆ 単数形から複数形の作り方

i) 母音で終わる単語では -s を加える.

ano → anos, dia → dias, gente → gentes

ii) 語末が -r, -z のものでは -es を加える.

professor → professores, lugar 「場所」 → lugares, paz 「平和」 → pazes

iii) -m で終わる単語では -m を -ns に変える.

homem → homens, jovem → jovens, viagem 「旅行」(女) → viagens

iv) -ão で終わる単語は -ão → -ões, -ão → -ãos, -ão → -ães のいずれかの変化をする.

- canção 「歌」(女) → canções, limão 「レモン」(男) → limões,
leão 「ライオン」(男) → leões, condição 「条件」(女) → condições
- chão 「床, 地面」(男) → chãos, mão 「手」(女) → mãos,
irmão 「兄弟」(男) → irmãos, órgão 「臓器」(男) → órgãos,
- alemão 「ドイツ人」(男) → alemães, cão 「犬」(男) → cães,
pão 「パン」(男) → pães, capitão 「隊長, 大尉」(男) → capitães

v) -il で終わる語

アクセントのない -il → -eis: fóssil 「化石」(男) → fósseis,
réptil 「爬虫類」(男) → répteis

(difícil 難しい → difíceis, fácil 易しい → fáceis)

アクセントのある -il → -is: barril 「樽」(男) → barris,
funil 「漏斗」(男) → funis

(civil 「市民の」 → civis, gentil 「親切な」 → gentis)

(ブラジルでは reptil 「爬虫類」(男) → reptis が普通で, ポルトガルでは réptil
しか用いられない.)

vi) -al, -el, -ol, -ul で終わる語では -l を -is にする. ただし, -el, -ol の -e と -o にアクセントがある時は -éis, -óis になる.

jornal 「新聞」(男) → jornais, capital 「首都(女)」 「資本(男)」 → capitais

nível 「レベル」(男) → níveis, papel 「紙」(男) → papéis

álcool 「アルコール」(男) → álcoois, lençol 「シーツ」(男) → lençóis

azul 「青」(男) → azuis, paul 「湿地帯」(男) → pauis

vii) -s で終わる語では, s の前の母音にアクセントがある時は -es を加え, アクセントがない場合は単複同形となる. 前者の場合, 必要に応じてアクセント記号を取る.

país 「国」(男) → países, japonês 「日本人」(男) → japoneses,

ananás 「パイナップル」(男) → ananases

lápiz 「鉛筆」(男) → lápis, alferes 「少尉」(男) → alferes,

atlas 「地図」(男) → atlas

◆ **冠詞, 形容詞, 指示詞, 所有詞などは名詞に性数一致する.** 性や数という文法的カテゴリーは文の中の語群のまとまりを形式的に示す手段である. ポルトガル語で英語などに比べて語順が比較的自由なのはこのことに関係している.

◆ 綴り字に現れない変化(メタフォニー)

corpo 「体」, corvo 「からす」, fogo 「火」, jogo 「ゲーム」, osso 「骨」, ovo 「卵」, porco 「豚」, porto 「港」, povo 「民衆」, sogro 「舅」, olho 「目」, poço 「井戸」, bolso 「ポケット」というような男性単数形の強勢母音が o [o] である名詞の一部では次のような語幹の母音の交替が起こる.

corpo [o] corpus [ɔ]

★ 母音交替の起きないもの

gosto 「好み」, lobo 「狼」, lodo 「泥」, rosto 「顔」, esposo 「夫」

これはラテン語からポルトガル語への歴史的変化と関係している現象で, 実用上は知らなくても特に支障はない.

練習問題 I

(1) 次の名詞を発音しなさい.

agosto amizade bilhete biquini cadeira carne educação farmácia
gaivota norte prazer rapaz roupa toalha trabalho vestido animal

(2) 上の名詞を複数形にしなさい.

2. 冠詞

ポルトガル語には**定冠詞**と**不定冠詞**がある. これらは名詞の前に置かれ, その性数に一致する. 形と用法は以下の通りである.

① **定冠詞**: **すでに述べられた既知のものや, 特定されているもの**(「その, 例の, ... は」)を示す. 「...というもの(すべて)は」という総称的用法もある.

	単数形	複数形
男性形	o	os
女性形	a	as

o filho, os filhos, a filha, as filhas

ポルトガル語では人名にも定冠詞がつくことがある。(o João, a Maria...) これは「(私たちが知っている)例の」といった程度の意味で、なくてもまちがいはない。ただし、呼びかけに定冠詞をつけることは出来ない。

② 不定冠詞: 単数形は「あるひとつの, ...が」という意味で、はじめて話題に出てくるものを示す。複数形は「いくつかの, 約...」という意味で用いられる。厳密には、不定冠詞の複数形は冠詞なしの複数形がそれにあたる。(cf. 冠詞なしの単数名詞)

	単数形	複数形
男性形	um	uns
女性形	uma	umas

um filho uns filhos uma filha umas filhas

③ 前置詞と定冠詞, 不定冠詞の結合形

前置詞のうち a, de, em, por は定冠詞と、また前置詞 de, em は不定冠詞と結合形を作る。前置詞の用法は動詞や形容詞などで決まっているものもあるが、これらの前置詞の場合、その基本的意味は a 「...へ, ...で」(間接目的語, 時間, 場所), de 「...の, ...から」(所有, 時間や場所の起点), em 「...で」(場所), por 「...によって, ...のあたりを」(行為者, 原因, 場所の広がり)などである。前置詞と定冠詞が連続し、前置詞が支配する語句がその冠詞がつく名詞句のみである時に結合形が用いられる。

	o	os	a	as
a	ao	aos	à	às
de	do	dos	da	das
em	no	nos	na	nas
por	pelo	pelos	pela	pelas

de + a praia 「その砂浜」 ⇒ da praia 「その砂浜から」

em + o prédio 「その建物」 ⇒ no prédio 「その建物で」

	um	uns	uma	umas
em	num	nuns	numa	numas
de	dum	duns	duma	dumas

前置詞と不定冠詞の結合形は必ずしも用いられるとは限らない。特に, dum, duns...

などの系列は現代語ではやや堅苦しい文体に限られる。

練習問題Ⅱ

(1) 次の名詞に定冠詞を付けて、意味を言いなさい。

- ① coisa ② pessoa ③ anos ④ casas ⑤ gente ⑥ dia ⑦ maneira ⑧ exemplo
⑨ vez ⑩ filmes

(2) 次の名詞に不定冠詞を付けて、意味を言いなさい。

- ① grupo ② cinema ③ feira ④ caso ⑤ ministro ⑥ problema ⑦ parte
⑧ vida ⑨ trabalhos ⑩ lado

(3) 前置詞と冠詞の結合形に注意しながら文章を読む練習をなさい。

- ① Televisão não é Cinema.
② Confio na minha família.
③ O jazz é uma música estranha.
O jogador não tem culpa do sucedido.
⑤ Lembro-me dos soldados, mas era pequenina.

(単語: não ~でない, é ...です, Confio em... 私は...を信頼します, minha 私の, estranha 奇妙な, tem culpa de... ~は...ついでにの過失がある, o sucedido 起ったこと, Lembro-me de... 私は...を覚えている, mas しかし, era 私は...だった, pequenina ちっちゃい)

3. 形容詞, 主語代名詞, および動詞 SER の直説法現在

① 形容詞: 形容詞は名詞を修飾し, 修飾する名詞の性数に従って変化する。

単 数 形		複 数 形	
男性形	女性形	男性形	女性形
novο	nova	novos	novas
grande		grandes	
simples			

名詞を直接修飾するときは後置されるのが普通である。前置された形容詞には主観的な、価値判断を含むような意味合いが強くなることもある。

uma casa grande 「ある大きな家」 o grande homem 「その偉大な男」

um carro novo 「新しい一台の車」 o novo carro 「その新しい(立派な)車」

bom 「よい」、mau 「悪い」は不規則である。これらは名詞を直接修飾する時、前置されることが多い。

男性単数	男性複数	女性単数	女性複数
bom	bons	boa	boas
mau	maus	má	más

これに対応する副詞が bem 「よく」、mal 「悪く」である。副詞は文全体を修飾したり、他の形容詞、副詞を修飾する。

ser, estar などの動詞の属詞として用いられる形容詞は文の主語と性数一致する。

O João é simpático. 「ジョアンはいい奴だ」

O tempo está húmido hoje. 「今日は湿った天気だ」

◆ 形容詞の女性形 — ただし、例外が多い。数変化の規則は名詞と同じである。

i) 無強勢の -o で終わるものは -o を -a に代える。

bonito 「きれいな」 → bonita muito 「沢山の」 → muita

claro 「明らかな」 → clara pequeno 「小さい」 → pequena

ii) -u, -ês, -or で終わるものでは、そのまま a を付け加えるのが一般的である。

cru 「生の」 → crua nu 「裸の」 → nua francês 「フランスの」 → francesa

japonês 「日本の」 → japonesa morador 「住人の」 → moradora

falador 「おしゃべりの」 → faladora

★ hindu, zulu, cortês, montês, pedrês, melhor, pior, maior, menor, superior, inferior, multidor, incolor, sensabor など是不変化とされる。ただし、ゆれのある場合も少なくない。

iii) -ão で終わるものは -ã 又は -ona に代える。

são 「健康な」 → sã alemão 「ドイツの」 → alemã chorão 「泣き虫の」 → chorona

★ beirão → beiroa 「バイラ地方の」

iv) -eu [ew] で終わるものは -eia [ɛjɐ] (ブラジルでは -éia [eja]) にする。

européu 「ヨーロッパの」 → europeia plebeu 「平民の」 → plebeia

hebreu 「ヘブライの」 → hebreia

★ judeu 「ユダヤの」 → judia sandeu 「愚かな」 → sandia

v) -éu [ɛ] で終わるものは -oa にする.

ilhéu 「島民の」 → ilhoa

◆ 綴り字に現れない変化(メタフォニー)

novo 「新しい」, grosso 「分厚い」, morto 「死んだ」, torto 「曲がった」, posto 「置かれた」というような男性単数形の強勢母音が o [o] である形容詞の一部と formoso 「美しい」のような男性単数形が -oso ['ozu] で終わる形容詞のすべてでは次のような語幹の母音の交替が起こる.

novo [o] nova [ɔ] novos [ɔ] novas [ɔ]

★ 母音交替の起きないもの

fosco 「つやのない」, fofo 「ふわふわの」, oco 「空っぽの」, tosco 「未加工の」
roto 「ぼろぼろの」, todo 「すべての」, roxo 「紫色の」

◆ 通性形容詞

i) -a で終わるもの. 多くは名詞としても用いられる.

hipócrita 「偽善の」 homicida 「殺人の」 indígena 「原住民の」

asceta 「禁欲の」 celta 「ケルトの」 israelita 「イスラエルの」 agrícola 「農業の」

ii) -e で終わるもの.

árabe 「アラブの」 breve 「短い」 doce 「甘い」 humilde 「つましい」

terrestre 「地上の」 torpe 「曲がった」 triste 「悲しい」 pedinte 「乞食の」

iii) -l で終わるもの.

cordial 「誠実な」 infiel 「不実な」 amável 「愛想のよい」 ágil 「素早い」 azul 「青い」

iv) -ar で終わるもの, 及び -or で終わる比較級.

exemplar 「模範的な」 ímpar 「奇数の」 maior 「より大きい」 superior 「上位の」

v) 語末にアクセントのない -s で終わる語.

reles 「卑しい」 simples 「単純な」

vi) -z で終わるもの.

audaz 「大胆な」 feliz 「幸福な」 atroz 「残酷な」

vii) -m で終わるもの.

virgem 「初めての」 ruim 「腐った」 comum 「普通の」

★ andaluz → andaluza bom → boa espanhol → espanhola

② 主語代名詞

文法的人称	単数	複数	文法的機能
1人称	eu 「私は」	nós 「私たちは」	話し手
2人称	tu 「君は」	vós 「汝らは」	聞き手
3人称	você 「君は」 o senhor 「あなたは(男)」 a senhora 「あなたは(女)」	vocês 「君たちは」 os senhores 「あなたがたは(男複)」 as senhoras 「あなたがたは(女複)」	
	ele 「彼は」 ela 「彼女は」	eles 「彼らは」 elas 「彼女たちは」	第3者

vós はブラジルでもポルトガルでも現代語では用いられない。古文調の形式である。o senhor, a senhora, ele, ela など男女の別のある形式の複数形では os senhores, eles などの男性複数形で男女の集団を表す(代表複数)。as senhoras, elas など女性複数形は女性だけの集団しか表さない。

◆人称代名詞における親称と敬称

ポルトガル語では聞き手に対し、初対面、尊敬、遠慮など一定の距離を置く「敬称」と、親しい間柄や社会的に同等とされる者同士で用いられる「親称」を区別する。

ブラジル : você(s) ⇔ o(s) senhor(es), a(s) senhoras

ポルトガル:

	単数	複数
親称	tu	vocês
中間称	você	
敬称	o senhor a senhora	os senhores as senhoras

③ 動詞 SER の直説法現在形 「...である」

文中で動詞は主語に応じて変化する。主語代名詞と対応する動詞 SER の変化形は次の通りである。

	単数		複数	
1人称	eu	sou	nós	somos
2人称	tu	és	vós	sois
3人称	você o senhor a senhora ele ela 名詞(単数)	é	vocês os senhores as senhoras eles elas 名詞(複数)	são

主語代名詞は省略することができる。変化形そのものにすでに主語の人称に関する情報が含まれているからである。語形や文脈から意味が明らかな場合は、対比、強調などの場合を除いて、主語代名詞は省略されるのが普通である。

Sou lisboeta. 「私はリスボンの人です」 Somos lisboetas.

Eles não são lisboetas. A senhora é inglesa?

Onde é a casa do professor? 「先生の家はどこですか？」

Interpretar é uma capacidade dos homens. 「解釈とは人間の能力のひとつである」

As línguas humanas são essencialmente diferentes das chamadas linguagens animais.

「人間の言語はいわゆる動物の言語活動とは本質的に異なっている」

◆ 疑問文と否定文

疑問詞を用いない疑問文は、文末のイントネーションを上がり調子にする。語順を変える必要はない。書き言葉では文末に”?”をつける。

Os senhores são japoneses? (↗) 「あなたがたは日本人ですか」

答には sim 「はい」、não 「いいえ」を用い、二つのパターンがある。否定文は動詞の前に não をおく。

1) — Sim, somos japoneses. 「はい、私たちは日本人です」

— Não, não somos japoneses. 「いいえ、私たちは日本人ではありません」

2) — Somos, sim. Somos japoneses.

— Não somos, não. Não somos japoneses.

ブラジルの規範文法は tu の使用を認めないが、実際には特に親しい関係にある親称の代名詞として広く用いられる。しかし、文法的には3人称である。

João, tu está aqui? 「ジョアン、ここにいるの？」 (= João, você está aqui?)

練習問題Ⅲ

(1) かつこ内の形容詞を適当な形に変化させなさい。

- ① os factos (histórico) ② uma zona (perigoso) ③ mulheres (grande)
④ as edições (especial) ⑤ uns quadros (bonito) ⑥ uma sociedade (plebeu)
⑦ rapazes (nu) ⑧ uma máquina (francês) ⑨ colegas (simpático)

(2) 次の文を読んで訳しなさい。次に、教師の指示に従って文を言い換えなさい。

Este disco não é uma coisa grandiosa.

- ② A aula de português é muito interessante.
③ Maio é um mês muito agradável.
④ Não sou estudante.
⑤ O professor é alto ou baixo?

(3) 作文しなさい.

私たちは学生です.

② 彼女の友達はブラジル人です.

③ 先生の車は新しくはありません.

④ 私はこの学校の教師ではありません.

4. 動詞 ESTAR の直説法現在と指示詞

① 動詞 ESTAR の直説法現在形「～という状態である, ～にいる(ある)」

	単数		複数	
1人称	eu	estou	nós	estamos
2人称	tu	estás	vós	estais
3人称	você o senhor a senhora ele ela 名詞等 (単数扱い)	está	vocês os senhores as senhoras eles elas 名詞等 (複数扱い)	estão

Ele está doente.

「彼は具合が悪い」

O carro está limpo.

「その車はきれい(な状態)です」

Estou hoje muito cansado.

「今日, 私はとても疲れています」

Estamos em casa.

「私たちは家にいます」

Os carros estão na garagem.

「それらの車は車庫の中です」

Ela está em Lisboa? — Não, está em Londres.

「彼女はリスボンにいますか」 — 「いいえ, ロンドンにいます」

Estás pelo Porto ou pelo Benfica?

「君はポルトを応援しているのですか, それともベンフィカですか」

Ele está de mal com o vizinho por uma ninharia.

「彼はどうでもいいようなことで隣人と仲が悪い状態である」

◆ SER と ESTAR

この2つの動詞には使い分けがある. 一般に, estar は一時的な状態や場所を表し, ser は比較的変わらない性質を表現する.

Hoje ele está cansado.

「今日, 彼は疲れている」

Ela está em casa agora.

「今, 彼女は家にいる」

O cinema está ao lado do teatro.

「その映画館は劇場のとなりにある」

(O cinema é ao lado do teatro.)

Esta cerveja é boa.

「このビールはおいしい」

O Gilberto é um homem alegre.

「ジルベルトは陽気な(性質の)男だ」

② 指示形容詞, 指示代名詞

直示的に用いられる場合は, それぞれ話し手に近いもの(este...), そして聞き手に近いもの(esse...), 両者から離れているもの(aquele...)を指して用いられる.

	指示形容詞・指示代名詞				指示代名詞
	男性単数	女性単数	男性複数	女性複数	(中性＝不変化)
この..., これ	este	esta	estes	estas	isto
その..., それ	esse	essa	esses	essas	isso
あの..., あれ	aquele	aquela	aqueles	aquelas	aquilo

este homem esta terra esses rapazes aquelas raparigas

Este filme é muito interessante.

「この映画はとても面白い」

Aqueles homens são empregados da loja. 「あの男たちはその店の店員です」

O que é isto? — Isso é uma lembrança de Portugal.

「これは何ですか」 — 「それはポルトガルのお土産です」

Isto é uma vergonha.

「これは恥だ」

Mas isso é secundário.

「しかし, それは二次的なことだよ」

③ 指示的副詞

aqui 「ここ」	cá 「こっち」
aí 「そこ」	
ali 「あそこ」	lá 「あっち」

isto aqui isso aí

ブラジルの話し言葉のポルトガル語では este..., isto, aqui と esse..., isso, aí の間の意味の違いや区別が失われつつある.

◆前置詞と指示詞などの結合形

de + este..., esse..., aquele..., isto, isso, aquilo, ele..., aqui, aí, ali

→ deste..., desse..., daquele..., disto, disso, daquilo, dele..., daqui, daí, dali

em + este..., esse..., aquele..., isto, isso, aquilo, ele...

→ neste..., nesse..., naquele..., nisto, nisso, naquilo, nele...

a + aquele, aquela, aqueles, aquelas, aquilo

→ àquele, àquela, àqueles, àquelas, àquilo

練習問題IV

(1) 次の名詞や形容詞を複数形にしてください。

- ① país ② gente ③ homem ④ professor ⑤ limão ⑥ mão ⑦ pão ⑧ civil
- ⑨ fácil ⑩ jornal ⑪ nível ⑫ papel ⑬ azul ⑭ país ⑮ português ⑯ alemã
- ⑰ atlas ⑱ jardim ⑲ avião ⑳ estação

(2) 次の文を複数形にして、訳してください。

- ① A praia é lindíssima.
- ② A paisagem é maravilhosa.
- ③ O jardim é fabuloso.
- ④ O cão é um animal fiel.
- ⑤ Eu sou bonita.

(3) 次の文の下線部に ser または estar の適当な形を入れて訳してください。

- ① O Manuel _____ simpático.
- ② O urso _____ da tua irmã?
- ③ O tempo _____ húmido hoje.
- ④ Os alunos _____ sentados.
- ⑤ Ele _____ o bom jogador.
- ⑥ Eu _____ na aula de português
- ⑦ Nós _____ professores.
- ⑧ O caderno _____ junto ao livro.
- ⑨ Tu _____ o amigo do Diogo?
- ⑩ Ela _____ famosa.
- ⑪ Vocês _____ muito faladores.
- ⑫ Onde _____ a caneta?
- ⑬ Que dia _____ hoje?
- ⑭ Eu não _____ na Inglaterra.
- ⑮ O senhor _____ o Sr. Santos?
- ⑯ Você _____ a Mila, não é?
- ⑰ O perigo _____ na velocidade.
- ⑱ Os livros das alunas _____ sobre a mesa.
- ⑲ A porta da sala _____ fechada.
- ⑳ Nós _____ no Brasil.

5. 規則動詞の直説法現在と所有詞

① 規則動詞

ポルトガル語の動詞は原形不定詞を引用形とし、その語尾が **-ar**, **-er**, **-ir** で終わるもの、および pôr 「置く」とその派生語 (supor 「仮定する」, impor 「課する」...) から成る。 **-ar**, **-er**, **-ir** のそれぞれのタイプについて規則活用のパターンがある。不規則動詞とは、そのパターンから逸脱しているもので、必ずしもその活用形のすべてが不規則なわけではない。

(1) falar 「話す」, (2) vender 「売る」, (3) abrir 「開ける」の直説法現在形を以下に示す。

原形不定詞	FALAR	VENDER	ABRIR
1人称単数	falo	vendo	abro
2人称単数	falas	vendes	abres
3人称単数	fala	vende	abre
1人称複数	falamos	vendemos	abrimos
2人称複数	falais	vendeis	abris
3人称複数	falam	vendem	abrem

Ele fala português muito bem. 「彼はとても上手にポルトガル語を話します」

Eles vendem o apartamento deles. 「彼らは自分たちのマンションを売る」

Tu abres a janela? 「君が窓を開けますか」

時制とは、発話の時点と、その文が表す内容(=事象)との時間的關係のことである。直説法現在形は動詞の時制の最も基本的な形式で、(発話の時点と同じ)現在の事象や習慣的な出来事、普遍的な真理と考えられるものなどを表す。近い未来の、確定的な出来事も表すことがある。ここで直説法という用語が用いられているが、文法用語としての「法」は、叙法ともいわれ、表現内容に対する話し手の心的態度の表現であり、ポルトガル語では直説法と接続法の区別が重要である。直説法は、話し手が表現内容を「事実として客観的に提示する」ときに用いられる動詞の変化形である。

A nossa filha não gosta de Madrid. 「うちの娘はマドリッドが嫌いだ」

A senhora trabalha aqui? 「あなたはここで働いているのですか」

Ele corre dois quilómetros por dia. 「彼は一日に2キロ走る」

Ela parte para a Europa amanhã. 「彼女は明日ヨーロッパに発つ」

A Terra gira em torno do próprio eixo. 「地球は自身の軸の周りを回っている」

② 所有詞

i) 所有形容詞

主語代名詞	対応する所有形容詞			
	男性単数	女性単数	男性複数	女性複数
eu	meu	minha	meus	minhas
tu	teu	tua	teus	tuas
nós	nosso	nossa	nostros	nossas
vós	vosso	vossa	vossos	vossas
você(s) o(s) senhor(es) a(s) senhora(s) ele(s) / ela(s)	seu	sua	seus	suas

ポルトガルのポルトガル語では所有形容詞が名詞を修飾する時、定冠詞をその前に付けるのが普通である。定冠詞は(自分の)親族の名称を表す名詞の時は省略することが出来る。(ただし、ポルトガルの現代語では親族名称でも定冠詞をつける用法が一般化している。)

o meu carro 「私の車」 os nossos livros 「私たちの本(複数)」 meu pai 「私の父」

minha irmã 「私の妹(姉)」 o teu pai 「君のお父さん」

a sua mãe 「あなたの(彼の、彼女の、あなたがたの、彼らの、彼女たちのお母さん」

ブラジルの話し言葉のポルトガル語では定冠詞は省略されるほうが多い。

⇒ meu carro, nossos livros...

O nosso colégio está fechado. (P) 「私たちの学校は閉まっている」

Abriu a porta de sua residência. (B) 「彼の住居の扉が開いた」

Aquele carro é o teu? / Aquele carro é teu? 「あの車は君のですか?」

ii) 所有表現

所有者が3人称の ele, ela, eles, elas であることを示すために、次のような名詞に後置される形が用いられる。これらは前置格の代名詞からなる前置詞句なので変化しない。

dele 「彼の」	dela 「彼女の」	deles 「彼らの」	delas 「彼女たちの」
-----------	------------	-------------	---------------

o livro dele 「彼の本」 as canetas dele 「彼のペン」 os apontamentos dela 「彼女のノート」

O último romance dele é uma porcaria. 「彼の最新の小説は駄作だ」

Está calor ou é impressão minha? 「暑いですか、それとも私の思いこみですか?」

◆ ポルトガルのポルトガル語では話し言葉で *vosso* は *vocês* に対する所有形容詞として用いられることがある。

- Esta pesquisa é *vossa*? 「この研究は君たちのですか？」
— É *nossa*, é. O que é que achou? 「そう、私たちのです。どう思われます？」

練習問題 V

(1) 次の動詞を活用させてみましょう。

*ser estar gostar ficar achar trabalhar andar chegar passar olhar
dever falar levar pensar tirar chamar comprar deixar viver vender
pagar perceber entrar acabar ganhar arranjar comer estudar meter
apanhar interessar tratar continuar*

(このリストは単語の頻度表から上位250語について不規則動詞など未習のものを除き頻度の高い順に並べたものである。)

(2) 次の括弧の中の動詞を適当な形に変化させ、訳しましょう。

- ① Eles _____ (*gostar*) de ouvir música.
- ② O sol _____ (*nascer*) mais tarde no inverno.
- ③ Nós _____ (*morar*) no Rio de Janeiro.
- ④ Ela _____ (*ligar*) o rádio para ouvir música.
- ⑤ O Pedro _____ (*escrever*) muitas cartas todas as semanas.
- ⑥ Ele _____ (*abrir*) a porta e _____ (*entrar*) na sala.
- ⑦ Eu não _____ (*entender*) alemão.
- ⑧ Aquele menino _____ (*mentir*) muito.
- ⑨ Os rapazes _____ (*estar*) no Brasil.
- ⑩ Ela _____ (*ser*) estrangeira.
- ⑪ O relógio de Maria _____ (*estar*) atrasado.
- ⑫ As páginas do livro _____ (*ser*) brancas.

(3) 次の文章を読んで訳しましょう。

- ① Você concorda com isso?
- ② Caio termina namoro com Joyce.
- ③ Artur insiste no casamento com Carolina.
- ④ Tadeu e Luciana estão preocupados com a falta de dinheiro.
- ⑤ Bruno marca encontro com Isabela em uma festa na casa dos Ferreto.
- ⑥ Heloísa espera garantir para este ano um crescimento de pelo menos 30%.

(30% = trinta por cento)

6. 不規則動詞の直説法現在, 数詞, 時の表現

① 不規則動詞 IR 「行く」, TER 「持つ」の直説法現在

原形不定詞	IR	TER
1人称単数	vou	tenho
2人称単数	vais	tens
3人称単数	vai	tem (P.['tẽj̃]/B.['tẽj̃])*
1人称複数	vamos	temos
2人称複数	ides	tendes
3人称複数	vão	têm (P.['tẽj̃j̃]/B.['tẽj̃])*

* vir の3人称の活用形の語尾も同じ発音になります。

(vem P.['vẽj̃]/B.['vẽj̃], vêm P.['vẽj̃j̃] / B.['vẽj̃] cf. lêem P.['leẽj̃] / B.['leẽj̃])

irは前置詞 a, para を伴って「～へ行く」という意味のほか、不定詞を直接(前置詞なしで)従えて「するつもりだ, ～するだろう」という近い未来の表現(近接未来)にも用いられる。

Ele vai ao mercado segunda-feira de manhã. 「彼は月曜の朝, 市場に行きます」

O aluno vai para casa / a casa.* 「その生徒は家に帰ります／行きます」

Ela vai à Baixa comprar jornais. 「彼女はバイシャに新聞を買いに行きます」

O nosso convidado de hoje vai falar de ecologia.

「今日我々が招待している人は生態学について話す予定です」

*前置詞 a と para の使い分けに注意しなさい。

terは所有や存在を表す。また **ter que + 不定詞** または **ter de + 不定詞** で「～しなければならない, ～にちがいない」という必要や義務, 断定の表現に用いられる。

Tenho de ir ainda hoje à estação. 「私はまだ今日駅に行かなければならない」

Ela tem que fazer o jantar. 「彼女は夕食を作らなければならない」

② 現在進行形「～しているところだ」

estar a + 不定詞 はポルトガルのポルトガル語では進行形を表す。ブラジルでは a + 不定詞の代わりに現在分詞 gerúndio を用い, 進行形は **estar + 現在分詞** である。現在分詞は, 不定詞の語尾 **-ar, -er, -ir** をそれぞれ **-ando, -endo, -indo** に置き換える。(ただし pôr は pondo.)

Estou a ler um livro muito interessante. 「私はとても面白い本を読んでいるところです」

- Em que é que estás a pensar, Constâncio, com esse ar fúnebre? (Rodrigues 1993, p.34)

「コンスタンシオ, そんなに陰気な様子で何を考えているの」

③ 直説法現在における不規則動詞

	fazer する	dizer 言う	trazer 持って来る
1人称単数	faço	digo	trago
2人称単数	fazes	dizes	trazes
3人称単数	faz	diz	traz
1人称複数	fazemos	dizemos	trazemos
2人称複数	fazeis	dizeis	trazeis
3人称複数	fazem	dizem	trazem

	ouvir 聞く	pedir 頼む	perder 失う
1人称単数	ouço (oiço)	peço	perco
2人称単数	ouves	pedes	perdes
3人称単数	ouve	pede	perde
1人称複数	ouvimos	pedimos	perdemos
2人称複数	ouvis	pedis	perdeis
3人称複数	ouvem	pedem	perdem

	poder ~出来る	saber 知っている	pôr 置く
1人称単数	posso	sei	ponho
2人称単数	podes	sabes	pões
3人称単数	pode	sabe	põe
1人称複数	podemos	sabemos	podemos
2人称複数	podeis	sabeis	pondeis
3人称複数	podem	sabem	podem

	crer 信じる	ler 読む	ver 見る	vir 来る
1人称単数	creio	leio	vejo	venho
2人称単数	crês	lês	vês	vens
3人称単数	crê	lê	vê	vem
1人称複数	cremos	lemos	vemos	vimos
2人称複数	credes	ledes	vedes	vindes
3人称複数	crêm	lêm	vêm	vêm

	dar 与える	sair 出る	querer を望む
1人称単数	dou	saio	quero
2人称単数	dás	sais	queres
3人称単数	dá	sai	quer
1人称複数	damos	saímos	queremos
2人称複数	dais	saís	quereis
3人称複数	dão	saem	querem

	(a) construir 建設する	(b) conhecer 知る
1人称単数	construo	conheço
2人称単数	construis / constróis	conheces
3人称単数	construi / constrói	conhece
1人称複数	construímos	conhecemos
2人称複数	construíis	conheceis
3人称複数	construem / constroem	conhecem

(a) destruir, possuir..., (b) conseguir, ficar, chegar...

④ 数詞

i) 基数と序数

	(基数)	(序数)
0	zero *	
1	um / uma	primeiro
2	dois (dous) / duas	segundo
3	três	terceiro
4	quatro	quarto
5	cinco	quinto
6	seis (B.: meia)	sexto
7	sete	sétimo
8	oito	oitavo
9	nove	nono
10	dez	décimo
11	onze	undécimo, décimo primeiro
12	doze	duodécimo, décimo segundo
13	treze	décimo terceiro
14	catorze, quatorze	décimo quarto
15	quinze	décimo quinto
16	dezasseis (B.: dezesseis)	décimo sexto

17	dezassete (B.: dezessete)	décimo sétimo
18	dezoito	décimo oitavo
19	dezanove (B.: dezenove)	décimo nono
20	vinte	vigésimo
21	vinte e um / uma	vigésimo primeiro
22	vinte e dois / duas	vigésimo segundo
30	trinta	trigésimo
40	quarenta	quadragésimo
50	cinquenta (B.: cinqüenta)	quingentésimo
60	sessenta	sexagésimo
70	setenta	septuagésimo
80	oitenta	octogésimo
90	noventa	nonagésimo
100	cem	centésimo
101	cento e um / uma	centésimo primeiro
200	duzentos / -as	ducentésimo
300	trezentos / -as	trecentésimo
400	quatrocentos / -as	quadringentésimo
500	quinhentos / -as	quingentésimo
600	seiscentos / -as	seiscentésimo, sexcentésimo
700	setecentos / -as	septingentésimo
800	oitocentos / -as	octingentésimo
900	novecentos / -as	nongentésimo
1000	mil	milésimo
10 000	dez mil	dez milésimos
100 000	cem mil	cem milésimos
1 000 000	um milhão	milionésimo
1 000 000 000	um bilhão (bilião)	bilionésimo

* grau zero, desinência zero

cem por cento cento e cinquenta um cento de bananas
um conto = mil escudos (Portugal)
trinta e cinco
quatrocentos e quarenta e nove
mil oitocentos e setenta e dois

mil e novecentos

mil e cinco

duzentos e noventa e três mil quinhentos e oitenta e cinco

quatrocentos e quinze milhões, setecentos e trinta e um mil duzentos e treze

Gregório VII (sétimo)

Pedro V (quinto)

Luís XIV (catorze)

século XX (vinte)

página 5 (cinco)

Quinta página

duzentas e cinco mesas

ii) 分数と倍数

(分(母)数)

(倍数)

meio, metade

duplo, dobro, dúplice

terço

triplo, tríplice

quarto

quádruplo *

quinto

quíntuplo *

sexto

sêxtuplo *

sétimo

séptuplo *

oitavo

óctuplo *

nono

nónuplo (B.: nônuplo) *

décimo

décuplo *

undécimo, onze avos

undécuplo *

duodécimo, doze avos

duodécuplo *

centésimo

cêntuplo *

* quatro vezes, cinco vezes, oito vezes...

treze avos, desanove avos, vinte e cinco avos

um terço, três quintos, cinco treze avos (×um meio)

⑤ 時の表現

Que horas são? 「何時ですか?」 (ポ俗: Tem horas?)

i) 動詞 Ser + 時(数字) + e + 分(数字) 「～時～分です」

É uma (hora) e quarenta e dois (minutos). 「1時42分です」

São duas (horas) e meia. 「2時半です」

São cinco e um quarto. 「5時15分です」

É meio-dia em ponto. 「お昼ちょうどです」

ii) 動詞 Ser + 時(数字) + menos + 分(数字) 「～時～分前です」

São duas menos sete. 「2時7分前です」

- É meia-noite menos vinte. 「(夜中の)0時20分前です」
- iii) 動詞 Ser + 分(数字) + para + a(s) + 時(数字) 「～時～分前です」
São vinte para a uma. 「1時20分前です」
São onze para as três. 「3時11分前です」
É um quarto para as seis. 「6時15分前です」
- iv) 動詞 Faltar + 分(数字) + para + a(s) + 時(数字) 「～時～分前です」
Faltam quinze para as onze. 「11時15分前です」
Falta um quarto para o meio-dia. 「お昼まで15分です」
Faltam cinco para a meia-noite. 「0時5分前です」

A que horas ... ? 「何時に...しますか？」

- ... à uma e 分(数字) (1時台のとき) 「～時～分に...します」
— ... às 時(数字) e 分(数字) (2時台のとき)

A que horas é que o senhor parte para o Brasil amanhã?

— Vou partir às oito e vinte da manhã.

da manhã, da tarde (午前の, 午後の)

Às 21.00, a Paula está na livraria para uma sessão de autógrafos.

「21時にパウラはサイン会のためにその本屋にいます」

⑥ 曜日と月と季節

dia da semana

domingo, segunda-feira, terça-feira, quarta-feira, quinta-feira, sexta-feira, sábado

毎週～曜日にというときは複数形にして定冠詞と前置詞をつける。前置詞は em や a を用いる。曜日に形容詞がつき特定されているときも前置詞を用いる。その他の場合は、単独で副詞的に用いる。

A novela “História de Amor” começa quinta-feira às 22h40.

「テレビドラマの愛の物語は木曜日の22時40分に始まる」

O programa vai ao ar às terças-feiras. 「その番組は毎週火曜日に放送される」

No último domingo encontrei-me com a namorada do Mário no centro comercial.

「この前の日曜日に私はショッピングセンターでマリオの恋人に会った」

mês

Janeiro, Fevereiro, Março, Abril, Maio, Junho, Julho, Agosto, Setembro, Outubro,

Novembro, Dezembro (B.: janeiro, fevereiro, março...)

em Dezembro em Maio no dia 25 de Abril em (/a) 24 de Maio

estação do ano : primavera, verão, outono, inverno

na Primavera no Verão no Outono no Inverno

練習問題VI

(1) 次の動詞を活用させてみましょう。

ter dizer ir (haver) fazer querer saber poder vir dar ver começar
sair conhecer parecer (conseguir) (sentir) acontecer aparecer pedir
trazer ler resolver tomar procurar aprender precisar notar existir
criar contar morrer deitar escrever partir lembrar (servir) tentar
perder receber (valer) compreender casar voltar (seguir) perguntar
custar abrir buscar considerar tornar ajudar matar cortar cair escolher
levantar usar crer correr aproveitar costumar esperar explicar bater
nascer pegar faltar (fugir) obrigar tocar ensinar mostrar dedicar
ligar mudar (dormir) julgar

(このリストは単語の頻度表から上位500語に入る動詞から、13ページの練習問題Ⅲの(①)で挙げたものを除き、頻度の高い順に並べたものである。括弧の動詞は活用パターンが未習のものである)

(2) 次の括弧の中の動詞を適当な形に変化させ、訳しましょう。

① Os Descobrimientos Portugueses _____ (pertencer) a toda a Humanidade.

② Mas porque _____ (ser) que ele _____ (beber) tanto?

③ Tu _____ (falar) demasiado depressa para os alunos.

④ Eles _____ (decidir) sobre essa matéria.

⑤ Eu _____ (recomendar) vivamente o restaurante onde nós _____ (comer) todos os dias.

⑥ Você _____ (responder) a essa pergunta e depois _____ (partir) livremente.

⑦ Eles _____ (ter) ótimas ideias.

⑧ Eu _____ (beber) cerveja e tu, o que _____ (beber)?

⑨ Na próxima semana elas _____ (partir) para Bruxelas.

⑩ Eu _____ (dar) um livro à mãe.

⑪ Tu _____ (crer) que eu _____ (dizer) a verdade?

⑫ Tu _____ (dizer) que a língua portuguesa é muito difícil?

⑬ Eu _____ (fazer) muito exercício físico.

⑭ Ele _____ (ler) muito pouco.

⑮ Ela _____ (perder) dinheiro frequentemente?

⑯ O senhor _____ (poder) assistir à aula mas eu não _____ (poder) deixar

assistir outros alunos.

- ⑰ Vocês _____ (querer) ir ao cinema?
- ⑱ Tu _____ (saber) onde está o Luís? Sim, _____ (saber)
- ⑲ Eu não _____ (ver) televisão mas eles _____ (ver).
- ⑳ Eu _____ (pedir) dinheiro à minha mãe.

(3) 次の文章を読んで訳しましょう。

- ① Já o sol está alto e quente. (Rodrigues 1993, p.21)
- ② - Vocês são tão unidos e tão diferentes um do outro. (Rodrigues 1993, p.60)
- ③ Mas Constâncio tem forçosamente que partir. (Rodrigues 1993, p.67)
- ④ - Eu volto cá. Talvez para o ano. Ou até antes. (Rodrigues 1993, p.42)
- ⑤ Nadine descobre a ficha de Fernanda no consultório e comenta com Laurinha que ela sofre de alergia respiratória. Laurinha estranha que a amiga está morando na casa de Rubinho, que está em obras.

(4) 作文しましょう。

- ① あの女の人たちはその店の店員です。
- ② その生徒たちの本はテーブルの上にあります。
- ③ あなたは明日何時に大阪に向けて出発しますか？
- ④ 私はポルトガル語がわかりません。
- ⑤ あなた方はしばしばお金をなくしますか？
- ⑥ その子供たちは学校へ行きたがっている。
- ⑦ あなたは毎日ポルトガル語をよく勉強しますか？

7. 直説法完了過去と直説法未完了過去, 存在と時間の表現

- ① 規則動詞の直説法完了過去(「～した, ～したところである」)

	falar	vender	abrir
1人称単数	falei	vendi	abri
2人称単数	falaste	vendeste	abriste
3人称単数	falou	vendeu	abriu
1人称複数	falámos	vendemos	abrimos
2人称複数	falastes	vendestes	abristes
3人称複数	falaram	venderam	abriram

② 直説法未完了過去(「～していた, ～したものだった」)

	falar	vender	abrir
1人称単数	falava	vendia	abria
2人称単数	falavas	vendias	abrias
3人称単数	falava	vendia	abria
1人称複数	falávamos	vendíamos	abríamos
2人称複数	faláveis	vendíeis	abríeis
3人称複数	falavam	vendiam	abriam

完了過去では不規則になるものが多いが, 未完了過去で不規則になるのは次の4つの動詞だけである.

	ser	ter	pôr	vir
1人称単数	era	tinha	punha	vinha
2人称単数	eras	tinhas	punhas	vinhas
3人称単数	era	tinha	punha	vinha
1人称複数	éramos	tínhamos	púnhamos	vínhamos
2人称複数	éreis	tínheis	púnheis	vínheis
3人称複数	eram	tinham	punham	vinham

完了過去, 未完了過去をそれぞれ完全過去, 不完全過去と呼ぶ場合もある.

③ 不規則動詞の直説法完了過去(完了幹が不規則)

	ser	estar	ter	ir
1人称単数	fui	estive	tive	fui
2人称単数	foste	estiveste	tiveste	foste
3人称単数	foi	esteve	teve	foi
1人称複数	fomos	estivemos	tivemos	fomos
2人称複数	fostes	estivestes	tivestes	fostes
3人称複数	foram	estiveram	tiveram	foram

	fazer	dizer	trazer	querer
1人称単数	fiz	disse	trouxe	quis
2人称単数	fizeste	disseste	trouxeste	quiseste
3人称単数	fez	disse	trouxe	quis
1人称複数	fizemos	dissemos	trouxemos	quisemos
2人称複数	fizestes	dissestes	trouxestes	quisestes
3人称複数	fizeram	disseram	trouxeram	quiseram

	poder	saber	ver	vir
1人称単数	pude	soube	vi	vim
2人称単数	pudeste	soubeste	viste	vieste
3人称単数	pôde	soube	viu	veio
1人称複数	podemos	soubemos	vimos	viemos
2人称複数	pudestes	soubestes	vistes	viestes
3人称複数	puderam	souberam	viram	vieram

	dar	sair	pôr
1人称単数	dei	saí	pus
2人称単数	deste	saíste	puseste
3人称単数	deu	saiu	pôs
1人称複数	demos	saímos	pusemos
2人称複数	destes	saístes	pusestes
3人称複数	deram	saíram	puseram

不規則動詞では2人称単数および1, 2, 3人称複数形において語幹末の強勢母音が e で綴られる時は [ɛ] となる。

例: trouxe ['trosɐ]/B. ['trozi], trouxeste [tro'sɛftɔ], trouxemos [tro'sɛmuʃ]/B. [tro'sɛmus], trouxeram [tro'sɛrɐũ] cf. vendeste [vẽ'dɛftɔ], vendemos [vẽ'dɛmuʃ]...

④ 完了過去と未完了過去の用法

完了過去は「発話時点より前に起きた事象を、現在に視点を置いて、完了したものと示す」時制で、日本語の「～した, してしまった」にあたる。事象が完了していることが表現の中心になることもあり、対象となる過去の事象が直前の場合もある。（「(ちょうど)～したところだ」）これに対して、未完了過去は、過去のある事象を展開中の一局面でとらえて表現するもので、いわば過去に移行した現在時制である。その過去の時点に視点が置かれ、出来事の過程そのものが表現の中心になるので、過去において継続していた事柄（「～していた」）や繰り返し起った出来事、習慣（「～したものだった」）などを表す。ある過去の事実を表現するのに、完了過去を用いるか、未完了過去を用いるかは話し手による視点の選択と関係している。そのため、いずれの形も文法的に可能な場合も多いが、前後の文脈などから視点が制限され、いずれかしか使えないという場合も生じる。この2つの時制の区別はポルトガル語では極めて基本的なものであるので、その使い分けに注意する必要がある。なお、ポルトガル語では完了過去に関して、他のロマンス語におけるような複合過去の発達は見られない。

i) 完了過去の用例

Alfred Hitchcock nasceu em 1899, numa família da pequena burguesia londrina.

「アルフレッド・ヒッチコックは1899年ロンドンの小ブルジョアの家庭に生まれた」

Também o número de instalações sanitárias duplicou.「衛生関係の施設の数も倍になった」
Ainda em criança, emprestou a sua voz a séries de desenhos animados.

「彼はまだ子供の頃に漫画番組に声優として出演した」

Nunca estive ao serviço de ninguém, apenas ao serviço da lei.

「私は今まで決して他人に仕えたことはなく、ただ法の僕であっただけである」

Mas a notícia apanhou quase de surpresa as autoridades portuguesas.

「しかし、その知らせはポルトガル当局筋にとってはほとんど驚きであった」

Portugal teve um fraco início na partida de ontem frente à Eslovénia.

「ポルトガルは昨日のスロヴェニアに対する緒戦で敗北した」

Um dia, acidentalmente, na rua, voltei a encontrar o Álvaro. (Sousa 1981, p.36)

「ある日、たまたま、私は道でアルバロに再び出会った」

Foi essa a última vez que estive com o Álvaro. (Sousa 1981, p.116)

「それが私がアルバロに会った最後だった」

Só no início do século XIV começaram a aparecer essas narrações.

「14世紀初頭になってはじめてこのような語りが現れ始めた」

歴史叙述には現在形が用いられることもある。(歴史的現在)

A descolonização de Moçambique domina a agenda política do Verão de 1974.

「モザンビークの脱植民地化は1974年夏の政治日程の中心だった」

ii) 未完了過去の用例

Os alunos estavam sentados.

「その生徒たちは座っていた」

No 25 de Abril, Samora tinha 15 anos.「4月25日革命の時、サモラは15歳であった」

Pensava em não ir à tropa, e não fui.

「私は軍隊に行かないつもりだったし、実際に行かなかった」

Cada uma das caixas continha 500 maços de tabaco da marca americana "Winston".

「一つ一つの箱にはアメリカタバコの“ウィンストン”が500パッケージ入っていた」

O periquito dormitava no poleiro. (Sousa 1981, p.108)

「インコは止まり木の上で居眠りをしていた」

iii) 両者が対照的に用いられている例

Estávamos num café e pedi segunda bica. (Sousa 1988, p.109)

「私たちはあるカフェーにいたが、私は2杯目のピーカを注文した」

De noite, a temperatura subiu e, pela manhã, Márcia já estava no hospital.

「夜に熱が上がり、朝方にはマルシアはもう入院していた」

Quando eu cheguei, em 1989, ele já desempenhava o papel muito importante no grupo.

「私が1989年に来たとき、彼はすでにグループの中で非常に重要な役割を担っていた」

⑤ 直説法現在における第3変化 -IR の不規則動詞

原形不定詞	SERVIR	DORMIR	SUBIR
1人称単数	sirvo [i]	durmo [u]	subo [u]
2人称単数	serves [ɛ]	dormes [ɔ]	sobes [ɔ]
3人称単数	serve [ɛ]	dorme [ɔ]	sobe [ɔ]
1人称複数	servimos [ə]/[e]	dormimos [u]/[o]	subimos [u]
2人称複数	servis [ə]/[e]	dormis [u]/[o]	subis [u]
3人称複数	servem [ɛ]	dormem [ɔ]	sobem [ɔ]

conferir, repelir, discernir, inserir, repetir, divergir, preferir, seguir, ferir, referir, sugerir, despir, refletir, vestir, mentir, sentir, tossir, engolir, cobrir, descobrir や acudir, bulir, cuspir, fugir, consumir, sacudir, sumir などがこのタイプの変化をする。

⑥ 存在と時間の表現 (動詞 haver)

現代語では動詞 haver の用法は限られている。本動詞としては3人称単数で「...がある, いる」にあたる存在表現に用いられる。人称と数は意味に関わりなく固定しているが、法と時制の変化は普通に見られる。

動詞 haver の直説法現在と直説法完了過去

	直説法現在	直説法完了過去
1人称単数	hei	houve
2人称単数	hás	houveste
3人称単数	há	houve
1人称複数	havemos	houvemos
2人称複数	haveis	houvestes
3人称複数	hão	houveram

(接続法現在の1人称単数形は haja)

Há alunos estrangeiros na turma dela. 「彼女のクラスには外国人の生徒がいます」

Havia muita gente na cerimónia. 「その式典にはたくさんの人々がいました」

Porque não há capacetes-azuis em Timor-Leste?

「どうして東チモールには国連軍がないのですか？」

Não havia como fugir da crueldade das perguntas e ele não lhe fugiu.

「その心無い質問から逃れるすべはなく、彼はそれから逃げなかった」

«Eu nada quero saber de política, Jorge, mas há coisas que me fazem sentir responsável e objecto.» (Namora 1989, XII, p.80)

「ジョルジュ、私は政治について知りたいとは思わんがね、それでも自分にも責

任がありわが身が卑しいと思わせることがあるんだよ」

また、この *haver* の単人称的用法は、次に時間に関する語句を伴って「～前に」(過去形とともに)や「～の間」(現在形と)という時の経過を表現する。意味をはっきりさせるため *antes* 「前に」や *desde* 「～以来」などの語を伴うことがある。

Conheço-o (desde) há dois anos. 「私は彼と二年間知り合いである」

Conheci-o há dois anos (antes). 「二年前に彼と知り合った」

この表現が文頭にくると接続詞の *que* が挿入されることがある。

Há três semanas (que) ela faz dieta. (= Ela faz dieta há três semanas.)

「3週間、彼女はダイエットをしてる」

Há dias, em Londres, soube da morte dele. 「数日前にロンドンで彼の死を知った」

他に *haver* は *haver de* (+不定詞)「...ねばならない、であろう」という表現や完了形の助動詞として用いられる。ポルトガルのポルトガル語では *haver de* の人称形が単音節のときハイフンを用いる。(hei-de, há-de, há-de, há-de)

Havemos de ir a Lisboa. 「私たちはリスボンに行かなければならない」

Hei-de conseguir uma boa nota! 「いい点を取るんだから！」

- *Acho que vamos ser muito amigos, não achas?*

- *Hei-de ser um pai para ti, Ana Sofia...*

Ela riu-se:

- *Um pai?! Tão novo e já pai!...*

E de golpe estendeu-me a boca, beijou-me os lábios, fugiu para dentro do prédio.
(Sousa 1981, p.59)

練習問題VII

(1) 次の動詞を現在形や過去形で活用させてみましょう。

lavar atender gastar verificar morar beber limpar reparar apresentar
entender aceitar parar preferir conversar supor agarrar cantar esquecer
pintar puxar oferecer depender formar pescar manter surgir
acompanhar fechar utilizar brincar mexer subir vestir adaptar importar
juntar organizar aumentar chatear empregar acreditar jantar pertencer

(このリストは単語の頻度表から上位514位から709位までに入る動詞を頻度の高い順に並べたものである。)

(2) 次の括弧の中の動詞を適当な形に変化させ、訳しましょう。

① No domingo passado eu _____ (votar) nas eleições.

② Normalmente nós _____ (ouvir) o Telejornal das oito.

- ③ O público _____ (sofrer) com o jogo até ao apito final.
- ④ Ontem vocês _____ (estar) em casa?
- ⑤ Quando eu ____ (ser) mais nova, _____ (costumar) dar muitos passeios a pé.
- ⑥ _____ (ser) sempre muito difícil julgar as pessoas pelas aparências.
- ⑦ _____ (haver) quanto tempo vocês _____ (chegar) a Lisboa?
- ⑧ A Ana ____ (haver) de aprender a jogar ténis
- ⑨ Ele _____ (dever) chegar às três horas, mas já _____ (ser) quatro e ainda não _____ (haver) notícias.
- ⑩ Eu _____ (preferir) peixe porque é mais saudável.
- ⑪ Ontem à noite a luz _____ (faltar) e não _____ (voltar).
- ⑫ O meu filho _____ (nascer) em Coimbra há treze anos.
- ⑬ Eu _____ (ouvir) o rádio todas as manhãs.
- ⑭ Sempre que nós _____ (partir) para férias, _____ (levar) muitas coisas.
- ⑮ Quando a polícia chegou, o dono da casa _____ (estar) a almoçar.
- ⑯ Antigamente eu _____ (fumar) muito.
- ⑰ O senhor _____ (ler) o jornal todos os dias?

(3) 次の文を読んで、訳しなさい。

Tivemos imenso orgulho de ver um ídolo musical ali ao vivo.

A actriz viveu em Moçambique, numa localidade perto do Tete, até ter oito anos.

Depois de um namoro longo, aceitou "o casamento" com algumas condições.

O Chiado já teve uma vivência mais animada, mas também já foi mais pacato.

Uma vez, chegámos a ter oito meses de salários em atraso e fomos campeões.

É por isso que chamei ao meu novo disco 'A Horse with a different colour'.

"Pensámos então em fazer uma coisa para a juventude", recorda João Carvalho.

Segundo a agência Lusa, o barracão ardeu por completo, mas ninguém sofreu ferimentos.

Começou a ter febre e sintomas de infecção interna.

⑩ Com a proximidade do Natal, os comerciantes contam com várias opções para enfeitar tanto a fachada como o interior da loja.

⑪ O céu está deslumbrantemente azul. (Rodrigues 1993, p.86)

⑫ O uso de uma expressão é semanticamente desviante quando não está de acordo com o significado habitual dessa expressão.

⑬ Ontem de manhã, como em todas as manhãs de Díli desde há muito tempo, demasiado tempo, as pessoas comentavam os tiros da madrugada.

⑭ O centro comercial está situado a pouca distância do Kremlin e foi aberto há dois

anos com toda a pompa e circunstância.

⑮ Também um dia hei-de estrear vestidos, e dos bons! dos da modista!.

(4) ポルトガル語に訳しなさい。

彼女はあさってブラジルに向けて発つつもりです。

私の娘は教師になろうと考えていた。

私が働いているとき彼女は遊んでいた。

夫の死後、彼女は小さな店を開いた。

あの人はポルトガル語も英語も話せない。

8. 斜格人称代名詞と再帰動詞

① 斜格人称代名詞

動詞や前置詞の目的語になる代名詞を斜格人称代名詞と呼ぶ。これに対して動詞の主語になるのが主語人称(主格)代名詞である。

主(語)格	直接目的(語)格	間接目的(語)格	前置格
eu	me	me	mim
tu	te	te	ti
nós	nos	nos	nós
vós	vos	vos	vós
você o senhor a senhora ele / ela	o / a (se)	lhe (se)	você ele / ela (si)
vocês os senhores as senhoras eles / elas	os / as (se)	lhes (se)	vocês eles / elas (si)

括弧内は3人称の再帰代名詞(se, si)。ポルトガルのポルトガル語では o(s) senhor(es), a(s) senhora(s), すなわち聞き手を指す敬称の代名詞の前置格として si が用いられることがある。(例: Para si? 「あなたに?」) このような用法はブラジルでは見られない。si はもっぱら再帰代名詞である。また、ポルトガルのポルトガル語では vos は vocês に対応する代名詞として用いられることがある。

動詞と直接結びつく目的語を**直接目的語**、前置詞を介して結びつく目的語を**間接**

目的語と便宜的に呼ぶ。人称代名詞における直接目的、間接目的の区別はほぼこれに対応している。直接目的語を取る動詞を**他動詞**という。

Ofereci à Teresa um disco no dia dos anos.

間接目的

直接目的

「私はテーレザにレコードを誕生日にプレゼントした」

Procurei várias horas a minha caneta, mas não a encontrei.

「私は何時間も私のペンを探したが、それを見つけることは出来なかった」

Finalmente encontrou um marido!

「彼女は最終的に夫を得た」

Encomendaste-lhe a tradução, ou vais fazê-la tu?

間接目的

直接目的

直接目的

「彼(彼女)に翻訳をするよう注文した？、それとも君自身がそれをするのかい」

Pelo contrário, expliquei demoradamente à jornalista que me abordou:

間接目的

直接目的

「それどころか私にコンタクトしてきた新聞記者に時間をかけて説明した」

直接目的格と間接目的格の代名詞は、普通、発話の中で固有のアクセントを持たず、弱代名詞とも呼ばれる。文中で動詞の前後に置かれ、音声的には動詞とひとつのアクセント素を形成する。動詞に対する位置に関しては後で詳しく展開するが、動詞句が1語で構成される定形動詞の場合、肯定の主文や疑問詞を伴わない疑問文では動詞の後に置かれ、これに対し、否定文や疑問詞を伴った疑問文、肯定の主文でも動詞の前に特定の副詞や不定代名詞などが先行するもの、従属文や副文、祈願文などでは動詞に対して前置されるというのがポルトガルの現代ポルトガル語における状況である。弱代名詞は、後置されたときハイフンでつなぐのが正字法上の決まりである。ブラジルのポルトガル語では、弱代名詞は話し言葉では前置されるが、文章語でポルトガルのポルトガル語に倣って肯定の主文などで後置されることもある。

— Como é que foste à festa?

— O Joaquim levou-me no carro dele.

— Ah, o Joaquim levou-te.

— Onde está o relatório da comissão?

— Arqueei-o.

— Como é que vocês foram à festa?

— O Simão levou-nos no carro dele.

— Ah, o Simão levou-vos.

— Ó Manel, tem a certeza que me deu a correspondência?

– Tenho, sim, senhor doutor. Dei-lhe a correspondência toda ontem.

– Gostas do Alberto?

– Gosto. Confio nele.

男性単数形の直接目的格の *o* には中性の代名詞としての用法がある。前に述べた文の全体やその一部など、「内容」を指し、特定の名詞句を受けるものではない。常に単数扱いである。

Tu julgas que ele não é sincero, mas é-o! (*o* = ser sincero)

「君は彼が誠実ではないと思っているが、ところがそうなんだよ」

前置詞 *com* 「～と一緒に、～によって」は前置格の代名詞と結合形を作る。

⇒ *comigo, contigo, conosco (conosco), convosco, consigo*

文中で直接目的格の代名詞と間接目的格の代名詞が連続する時は後者が先行するが、そのとき直接目的格の *o, os, a, as* は間接目的の代名詞と結合形を作る。ただし、結合形はブラジルのポルトガル語ではほとんど見られない。

	<i>o</i>	<i>os</i>	<i>a</i>	<i>as</i>
<i>me</i>	<i>mo</i>	<i>mos</i>	<i>ma</i>	<i>mas</i>
<i>te</i>	<i>to</i>	<i>tos</i>	<i>ta</i>	<i>tas</i>
<i>nos</i>	<i>no-lo</i>	<i>no-los</i>	<i>no-la</i>	<i>no-las</i>
<i>vos</i>	<i>vo-lo</i>	<i>vo-los</i>	<i>vo-la</i>	<i>vo-las</i>
<i>lhe</i>	<i>lho</i>	<i>lhos</i>	<i>lha</i>	<i>lhas</i>
<i>lhes</i>	<i>lho</i>	<i>lhos</i>	<i>lha</i>	<i>lhas</i>

結合形では *lhe* と *lhes* のちがいは中和される。

O Rui deu-lhos ontem.

A mãe leu-ta tantas vezes!

直接目的格の *o, os, a, as* は動詞の後に置かれる時、語形変化を起こすことがある。

i) *-r, -s, -z* で終わる動詞の語形の後に来る時、*lo, los, la, las* になり、その時 *r, s, z* は消え、代名詞はハイフンでつながれる。

falar + *o, os, a, as* → *falá-lo, falá-los, falá-la, falá-las*

beber + *o, os, a, as* → *bebê-lo, bebê-los, bebê-la, bebê-las*

partir + *o, os, a, as* → *parti-lo, parti-los, parti-la, parti-las*

bebemos + *o, os, a, as* → *bebemo-lo, bebemo-los, bebemo-la, bebemo-las*

faz + *o, os, a, as* → *fá-lo, fá-los, fá-la, fá-las*

ii) 鼻母音で終わる動詞の変化形(-am, -em, -ão...)の後で no, nos, na, nas になる.

amam + o, os, a, as → amam-no, amam-nos, amam-na, amam-nas

dão + o, os, a, as → dão-no, dão-nos, dão-na, dão-nas

Quis comê-la.

Encontrámo-las na rua.

Põe-no em cima da mesa.

② 再帰動詞の活用 lembrar-se (de...) 「...を覚えている」

原形不定詞	lembrar-se	se lembrar
1人称単数	lembro-me	me lembro
2人称単数	lembras-te	te lembras
3人称単数	lembra-se	se lembra
1人称複数	lembramo-nos	nos lembramos
2人称複数	lembráis-vos	vos lembráis
3人称複数	lembram-se	se lembram

ここでは便宜的に、再帰代名詞のついた動詞を再帰動詞という(cf. 代名動詞). ポルトガル語ではすべての動詞に再帰代名詞がつくことが出来る. *queixar-se de...*, *suicidar-se*, *atrever-se a...* などのように再帰動詞としてしか使われないものもある.

③ 再帰動詞の用法

再帰代名詞は主語と同じものを指示する代名詞であるが、再帰代名詞がついた再帰動詞は、必ずしも動詞が意味する行為などの受益者が主語自身である(本来の再帰)といった単純なものばかりではない. 再帰化に伴う動詞の意味変容としては、1) 本来の再帰、2) 自動詞化、3) 受け身、4) 相互的用法、5) その他(熟語的用法など)を考えるとよい.

1) 本来の再帰

João cortou-se com uma faca (a si mesmo).

Perguntava-se a si mesma Teresa se aquela horrorosa situação seria um sonho.

2) 自動詞化

Noris infiltra-se em uma organização criminosa para combatê-la.

Família de playboy milionário decide que ele deve se casar. Ele se apaixona, mas a moça não preenche os requisitos da família.

Cada vez me sinto menos capaz de prosseguir esta narrativa. (Namora 1989, XII, p.73)

Veste-se devagar, dirige-se depois, por outro caminho, para o café, a meia encosta, onde come duas sandes de presunto e um kiwi inteiro. (Rodrigues 1993, p.87)

3) 受け身

Fez-se novo silêncio.

Aqui vendem-se melões.

Alugam-se quartos.

Há bem uns três dias que se fala muito na mala encontrada com um corpo mutilado e queimado, sem cabeça. (Rodrigues 1993, p.103)

4) 相互的用法

- Despedimo-nos aqui. Prefiro não conhecer a tua amiga. (Rodrigues 1993, p.43)

Elas odeiam-se uma à outra.

Honramo-nos uns aos outros. (cf. Honramo-nos a nós mesmos.)

5) その他(本質的再帰, 熟語的用法など)

O poeta Antero de Quental suicidou-se em 1891.

Vou-me embora.

練習問題VIII

次の文を読んで訳しなさい。

① O Abílio lava a loiça e tu limpa-la.

② Tenho de fingir que o encontro por acaso.

③ Zé tenta conversar com Diego, que o expulsa.

④ O John não é português mas os amigos dele são-no.

Eles nem sequer se passeiam à noite com as namoradas na rua.

Podemos beber juntos uns copos de vinho e fumar uns charutos.

A reunião durou seis horas antes de se chegar a um compromisso.

Durante muitos e muitos anos foi o seu silêncio que falou por si.

Por isso escrevia as canções, para me libertar do que nelas contava.

O restaurante fica próximo da Azinhaga, a terra natal de José Saramago.

Eu sou um compositor, mas com este disco senti-me mais no papel de cantor.

Desta vez, os nomes vão por ordem alfabética, por isso é que estou no cimo do cartaz!

Lembro-me de imediato de um dia em que adormeci na praia e acordei rodeado de gaivotas.

⑭ Já em casa, de madrugada, só com o marido, Bel agradece-lhe a generosidade. (Rodrigues 1993, p.38)

⑮ Não sei bem, aliás, o que me fazia hesitar ou qual a hesitação. (Namora 1989, IX, p.53)

⑯ - Gosto de flores, ainda não to disse. E gosto doidamente de flores lilases. (Namora 1989, XIII, p.83)

9. 接続法現在と命令形

① 接続法現在の変化

接続法現在の規則変化は -er, -ir 動詞では同じである. 不規則動詞では estar, ser, querer, saber, haver, dar, ir の7つを除き, 直説法現在の1人称単数形から, 語尾 -o を取り, これを -a, -as, -a, -amos, -ais, -am に置き換えて活用させる.

i) 規則変化

	falar	vender	abrir
1人称単数	fale	venda	abra
2人称単数	fales	vendas	abras
3人称単数	fale	venda	abra
1人称複数	falemos	vendamos	abramos
2人称複数	faleis	vendais	abrais
3人称複数	falem	vendam	abram

ii) 直説法現在の一人称単数から派生するもの

	fazer	ter	pôr	dormir
	(faço)	(tenho)	(ponho)	(durmo)
1人称単数	faça	tenha	ponha	durma
2人称単数	faças	tenhas	ponhas	durmas
3人称単数	faça	tenha	ponha	durma
1人称複数	façamos	tenhamos	ponhamos	durmamos
2人称複数	façais	tenhamais	ponhais	durmais
3人称複数	façam	tenham	ponham	durmam

iii) 完全な不規則

	ser	estar	dar	ir
1人称単数	seja	esteja	dê	vá
2人称単数	sejas	estejas	dês	vás
3人称単数	seja	esteja	dê	vá
1人称複数	sejamos	estejamos	demos	vamos
2人称複数	sejais	estejais	deis	vades
3人称複数	sejam	estejam	dêem	vão

	querer	saber	haver
1人称単数	queira	saiba	haja
2人称単数	queiras	saibas	hajas
3人称単数	queira	saiba	haja
1人称複数	queiramos	saibamos	hajamos
2人称複数	queirais	saibais	hajais
3人称複数	queiram	saibam	hajam

② 接続法の用法

法には、話し手が表現内容を「事実として客観的に提示する」ときに用いる動詞の変化形である直説法と、「動詞が表す内容が事実であることを疑ったり、あるいは、まだ実際に起きていない可能性の面を強調したり、譲歩節などのような主観的判断を交えて表現される」場合に用いられる接続法がある。接続法では仮想的な内容が表され、事実かどうかの判断は保留されている。

Viva Portugal!

Deus seja connosco!

Que o leve o diabo!

Oxalá nunca te arrependas da tua decisão!

É possível que ele esteja no estrangeiro.

É preciso que poupes energia.

Quero que continues a crer que vale a pena lutar.

Não acredito que ele tenha tanto dinheiro como diz.

Mas ele não acredita que alguém ainda o estude.

Não consigo imaginar que o usemos para desenvolver armas, nem para testar medicamentos e vacinas.

Talvez eu coma hoje na cantina.

Talvez possa um dia vir comigo ver uma tourada genuína e vai mudar de opiniões.

Talvez seja por isso que, nestes ermos, julgo sempre que, de um momento para o outro, vai surgir uma pessoa saída do fundo dos tempos. (Namora 1989, XII, p.78)

Prometo fazer tudo para que não esqueças mais estes dias. (Namora 1989, XVIII, p.111)

Mas, embora os resultados sejam bons, o trabalho não está terminado.

Embora não tenha grande experiência da complexidade feminina, presente, sem pôr em dúvida a sinceridade dela, que Kitty está próxima de ceder. (Rodrigues 1993, p.24)

Precisa de se estender logo que chegue a casa. (Rodrigues 1993, p.163)

Lamento que se esconda neste recanto, D.Luís!

③ 命令形

ポルトガル語には伝統的に**命令法**と呼ばれる形式があるが、これは2人称(tu, vós)に対してしか存在せず、**肯定の命令文にのみ**用いられる。それ以外の人称や否定の命令文では**対応する接続法現在の形**が用いられる。従って、接続法現在が不規則の動詞では命令形も不規則になる。

i) 規則動詞の肯定命令

	falar	vender	abrir
2人称単数 (tu)	fala	vende	abre
3人称単数 (você...)	fale	venda	abra
1人称複数 (nós)	falemos	vendamos	abramos
2人称複数 (vós)	falai	vendei	abri
3人称複数 (vocês...)	falem	vendam	abram

ii) 規則動詞の否定命令

	falar	vender	abrir
2人称単数 (tu)	não fales	não vendas	não abras
3人称単数 (você...)	não fale	não venda	não abra
1人称複数 (nós)	não falemos	não vendamos	não abramos
2人称複数 (vós)	não faleis	não vendais	não abrais
3人称複数 (vocês...)	não falem	não vendam	não abram

(tu, vós に対する) 命令法は対応する直説法現在形から -s をとったものである。

«Não troces, Marcos, simplesmente não fui capaz de ficar calada.» (Marques 1992, p.91)

«Agora é a minha vez de pedir que não troces...» (Marques 1992, p.92)

Mas Bel, serena e sorridente, diz-lhe que não teime, que a relação deles está definitivamente arquivada. (Rodrigues 1993, p.12)

iii) 不規則動詞の命令形

	dizer		ser	
	肯定命令	否定命令	肯定命令	否定命令
2人称単数	diz(e)	não digas	sê	não sejas
3人称単数	diga	não diga	seja	não seja
1人称複数	digamos	não digamos	sejamos	não sejamos
2人称複数	dizei	não digais	sede	não sejais
3人称複数	digam	não digam	sejam	não sejam

ser の命令法は不規則である。他に tens → tem, vens → vem のような文字の上での変更を伴うものがある。

練習問題IX

(1) 次の動詞を活用させて見ましょう。

sentar chover funcionar preparar fumar sofrer adorar entregar montar
 aguentar colocar cozer praticar almoçar chorar descobrir telefonar
 contactar apetecer visitar descer desenvolver discutir pretender
 responder dançar assistir construir conviver guardar recordar concordar
 convidar desaparecer exigir dirigir encher atingir lidar passear

(頻度リスト712位から939位までの中に入る動詞を頻度順に並べたもの)

(2) 読んで訳しなさい.

Este ano, a julgar pela procura, vamos ter 15 mil pessoas por noite.

O bom senso leva a pensar que o processo é exactamente ao contrário.

Não receia que "Inferno" seja interpretado apenas como um filme de acção?

É que a passagem do tempo é um dado fundamental da encenação de Ronconi.

O lançamento do míssil é uma questão de soberania e de independência nacional.

Se vai viajar para o estrangeiro lembre-se que os azares não acontecem só aos outros.

⑦ A solidão, aos cinquenta anos, é em grande parte da nossa responsabilidade, não nos podemos queixar. (Rodrigues 1993, p.58)

⑧ Acho que hoje em dia todos os nacionalismos são excrescências redundantes de um passado morto. (Sousa 1988, p.77)

10. 現在完了と受動態, 直説法過去完了(大過去)

① 現在完了(直説法複合完了過去)の変化と用法

ter の現在形に過去分詞を加える. 完了形の過去分詞は無変化(男性単数形)である. 規則的な過去分詞は不定詞の語尾 -ar, -er, -ir をそれぞれ -ado, -ido, -ido に置き換える.

	falar	vender	dormir
1人称単数	tenho falado	tenho vendido	tenho dormido
2人称単数	tens falado	tens vendido	tens dormido
3人称単数	tem falado	tem vendido	tem dormido
1人称複数	temos falado	temos vendido	temos dormido
2人称複数	tendes falado	tendes vendido	tendes dormido
3人称複数	têm falado	têm vendido	têm dormido

ポルトガル語の現在完了は、過去のある時点で開始され現在までずっと続いていた
り、繰り返し起こった出来事や内容を表す。（「～(以来)ずっと～してきた」）

Tenho escrito bastantes poemas.

Ele tem trabalhado muito durante estes três meses.

現在完了は直説法完了過去に置き換えることが出来るが、その場合、「現在まで続いている」という強調的な意味は失われる。現在完了がいわゆる複合過去として使われることはない。

② 過去分詞と現在分詞

i) 過去分詞

次の8つの動詞並びにその複合形では過去分詞は不規則である。

abrir → **aberto** **cobrir** → **coberto** **dizer** → **dito** **escrever** → **escrito**
fazer → **feito** **pôr** → **posto** **ver** → **visto** **vir** → **vindo**

動詞によっては規則形と不規則形の2つの過去分詞を持つものがある。一般に、規則形は **ter** や **haver** を助動詞にした完了形に、不規則な形は受動態や形容詞的に用いられる傾向がある。ただし、実際には不規則な過去分詞か、意味的に類似した、あるいは語源的に間連する形容詞なのか判断しがたい場合も少なくない。

aceitar → **aceitado**, **aceite** **afligir** → **afligido**, **aflito** **elegir** → **elegido**, **eleito**
entregar → **entregado**, **entregue** **fixar** → **fixado**, **fixo** **frigir** → **frigido**, **frito**
ganhar → **ganhado**, **ganho** **gastar** → **gastado**, **gasto**
imprimir → **imprimido**, **impresso** **libertar** → **libertado**, **liberto**
matar → **matado**, **morto** **morrer** → **morrido**, **morto**
prender → **prendido**, **preso** **romper** → **rompido**, **roto**
surpreender → **surpreendido**, **surpreso** **tingir** → **tingido**, **tinto...**

過去分詞は形容詞に準じ性数変化する。ただし、完了形に用いられる過去分詞は現代語では変化しない。他動詞の過去分詞は「～された」という意味を持つ。

Embaraçado, não consegui chegar à porta.

Com a cabeça levantada, olhava o céu.

Achada a solução do problema, não mais torturou a cabeça.

ii) 現在分詞

ポルトガル語の現在分詞は、いわゆるジェルンディウム(「動名詞」)であり変化しない。不規則はなく、不定詞の語尾 **-ar**, **-er**, **-ir** をそれぞれ **-ando**, **-endo**, **-indo** に置き換える。(ただし **pôr** では **pondo**) 分詞構文として用いられたり、**Em** + 現在分詞「～するとすぐに」、**ir (vir)** + 現在分詞「徐々に～していく(来る)」といった表現がある。また、現在分詞には **ter** や **haver** を助動詞にした完了分詞があり、よく用いられる。

Tocando piano no teste, Ricardo se lembrava do pai.

(= Enquanto tocava piano no teste, Ricardo...)

Tendo feito o presente, avançando o braço ele segurou a mulata pelo pulso.

A produção do vinho tinto vai aumentando cada ano.

Em comendo, podes ir brincar.

Em acabando o trabalho, vou ter contigo.

Em começando as férias, vamos logo para Portugal.

③ 受動態

ser に過去分詞を加えた形が受動態である。行為者を前置詞 **por** によって示すことが出来る。この過去分詞は文の主語に性数一致する。

A casa foi mobilada pela minha mãe.

Os livros foram escritos pelo meu pai.

O político tem sido muito criticado, mesmo pelos seus partidários.

Sempre alegre e prestável, ela era de todos estimada.

(Sempre alegre e prestável, ela era por todos estimada.)

acompanhar, cercar, seguir...などの動詞では行為者を **de** で示すことも出来る。この場合、いわゆる「他動性」は低くなる。

助動詞が **ser** 以外の動詞で示されることがある。この場合、状態や状態変化が強調され、厳密な意味での「行為の受動態」とは言えない。

Ele esteve preso dois anos.

Ele foi preso ontem.

Após o terramoto de 1755, parte de Lisboa ficou destruída.

Parte de Lisboa foi destruída pelo terramoto de 1755.

Com a cheia, os campos ficaram inundados.

Os campos foram inundados pela cheia.

Os campos estão inundados.

④ 直説法過去完了(大過去)

過去のある時点より前に起こった事柄を表現する時に用いられる時制。遠い過去の内容を非限定的に示すときにも用いられる。**ter** または **haver** の直説法未完了過去に過去分詞(無変化)を加えた複合過去完了形と単純過去完了形の2つがある。話し言葉では複合過去完了形のみが用いられ、単純過去完了形は書き言葉に限定される形式である。両者に過去完了としての意味の使い分けはないが、単純過去完了形は、現代語では少ないものの、後で述べる直説法過去未来形(条件法)や接続法未完了

過去形の代用形として用いられることがある。また、複合形で *haver* を助動詞として用いるのは書き言葉に多い。

falar の複合過去完了形

1人称単数	<i>tinha falado</i>	<i>havia falado</i>
2人称単数	<i>tinhas falado</i>	<i>havia falado</i>
3人称単数	<i>tinha falado</i>	<i>havia falado</i>
1人称複数	<i>tínhamos falado</i>	<i>havíamos falado</i>
2人称複数	<i>tínheis falado</i>	<i>havíeis falado</i>
3人称複数	<i>tinham falado</i>	<i>havam falado</i>

単純過去完了形

	<i>falar</i>	<i>vender</i>	<i>dormir</i>	<i>ter</i>
1人称単数	<i>falara</i>	<i>vendera</i>	<i>dormira</i>	<i>tivera</i>
2人称単数	<i>falaras</i>	<i>venderas</i>	<i>dormiras</i>	<i>tiveras</i>
3人称単数	<i>falara</i>	<i>vendera</i>	<i>dormira</i>	<i>tivera</i>
1人称複数	<i>faláramos</i>	<i>vendêramos</i>	<i>dormíramos</i>	<i>tivêramos</i>
2人称複数	<i>faláreis</i>	<i>vendêreis</i>	<i>dormíreis</i>	<i>tivêreis</i>
3人称複数	<i>falaram</i>	<i>venderam</i>	<i>dormiram</i>	<i>tiveram</i>

単純形は、直説法完了過去の3人称複数形から **-ram** を取り、これに **-ra, -ras, -ra, -ramos, -reis, -ram** をつけ、特に1人称複数および2人称複数形には語幹末の母音にアクセント記号を付ける。(第1変化 á, 第2変化 ê, 第3変化 í, 不規則動詞 é, ô)

Quando me levantei da cama, ela já tinha saído.

Ela afirmou que o romance só tinha durado quinze dias.

A borboleta tinha entretanto saído pela janela fora. (Sousa 1988, p.78)

Mimosa por essa altura lisboetara-se. (Sousa 1981, p.73)

Mais tarde, sempre por intemédio da enfermeira, soube que a rapariga decidira ficar no hospital. (Namora 1989, III, p.22)

⑤ 弱代名詞の位置

弱代名詞の位置は、構文のタイプと動詞句の構造によって決定される。ここでの構文のタイプとはやや便宜的なもので、一応、肯定の主文や疑問詞を伴わない疑問文を無標の構文とみなし、これに対し、否定文や疑問詞を伴った疑問文、肯定の主文でも動詞句の前に特定の副詞や不定代名詞、不定形容詞などが先行するもの、従属文や副文、祈願文などが有標の構文とする。有標の構文では弱代名詞は動詞に対して前置されるが、無標の構文の場合、基本的には後置されるものの、実際には、動詞句の構造によって分けて考える必要がある。動詞句の構造については、1) 動詞が単純形であるか、2) 助動詞と不定詞からなり、いわば本動詞が不定詞によって表現されるもの、3) 動詞句が完了形や受動態など複合形、4) 不定詞(人称不定詞や完了不定

詞を含む)や過去分詞, 現在分詞からなる形容詞句や副詞句, および不定詞構文や分詞構文によって表現される副文中の不定詞や分詞などを考えるとよい.

以下はポルトガルの現代語の場合である.

(無標の構文)

1) Dói-me tanto a cabeça que nem consigo concentrar-me.

Então eu despeço-me já, pois ainda vou para Setúbal antes do almoço.

Foi-se embora?

O João foi-se embora.

O amigo de quem te falei disse-me que não podia vir.

O jornalista escreveu a notícia e publicou-a.

2) ter de, ter que, dever, poder, ir, vir, desejar, esperar, procurar, querer, saber, tentar, andar a, estar a

Por não haver quórum para a reunião, os presentes tiveram de a adiar.

Por não haver quórum para a reunião, os presentes tiveram de adiá-la.

Posso ajudar-te. / Posso-te ajudar.

Quero fazer-lhe uma surpresa. / Quero-lhe fazer uma surpresa.

Ela anda a tratar-se. / Ela anda-se a tratar.

Ele está a vestir-se. / Ele está-se a vestir.

Pode-se levantar. / Pode levantar-se.

cf.) Não se pode levantar. / Não pode levantar-se.

deixar, mandar, fazer, ver, ouvir, sentir...

Deixei-o vir. (*Deixei vi-lo.)

Não o deixei vir.

Vejo-o chegar.

Vejo maltratá-lo.

Vejo-o maltratar.

Vejo-o maltratá-lo.

3) Eles têm-me dado muito que fazer.

Aos alunos foi-lhes pedido silêncio.

O Mário gosta da Luísa: tem-na ajudado muito.

Tinha-se afastado. cf.) Já se tinha afastado.

4) Antes de os ver...

Antes de vê-los...

Antes de os vermos... (*Antes de vermo-los...)

前置詞が a の時は常に後置

Ficou a contemplá-la.

Ao levantar-se sentiu uma dor.

Em me arranjando, saio logo.

Em se cansando, diga-me, que eu venho substituí-lo

Fugiu atirando-se à água.

cf.) Não o encontrando em casa deixei de o procurar.

Não é razoável encontrarmo-nos todos os dias.

Custa-me muito não te ver.

A Teresa falou com o Filipe e prometeu ajudá-lo no trabalho dele.

以下は無標の構文といえるかどうか. . .

Por ela se sacrificar tanto pelos outros, é que teve aquele desgosto.

Não tenho dinheiro para me instalar num hotel dessa categoria.

Ele foi-se embora sem o avisar.

(有標の構文)

(否定)

O polícia passou pelo ladrão e não o viu.

Não te apetece ir passear?

Ela nunca lhe deu razão de queixa.

Nada lhe agrada.

Não o encontrei nunca.

Ninguém nos dá nada de graça.

(疑問詞)

Que te disse ele?

Até quando o esperará ela?

Perguntei-lhe quando é que ele se resolve a comprar a casa.

(強調)

A Lurdez fez o bolo mas o Zé é que o comeu.

(離接的接続詞で始まる文)

Ou se decidem ou procuro outra solução.

(倒置)

Uma coisa te direi.

De difícil solução me parece este problema.

(副詞や不定形容詞, 不定代名詞)

次のものが先行する時: algum, alguém, algo, todo, tudo, cada, muito, pouco, mesmo, qualquer, vários, tanto, já, ainda, sempre, só, também, talvez, bem, mal, apenas, até, quase, somente, ambos (assim や数詞などが含まれる語句では必ずしも前置されない)

Todos o conhecem.

Ainda o encontrei várias vezes.

Alguém o tinha avisado.

Talvez eles nos convidem para a festa.

Este barulho sempre o irritou.

Ambos me são simpáticos, mas ela mais.

(従属, 副文, 祈願文)

O Joca disse-me que a prenda que lhe deste é magnífica.

Dou-te o disco da Otília quando ela mo der.

O Fernando podia ser melhor aluno se o desejasse.

A Paula não veio, embora eu lhe tenha dito que fazia muita falta.

O rapaz gosta tanto dela que lhe faz poemas.

O encarregado chamou o empregado e disse-lhe que o despedia.

Deus te oiça!

Diabos o levem!

★ ブラジルのポルトガル語における弱代名詞の位置

前置されるのが話し言葉のより自然なスタイルである。書き言葉の影響から後置されることもある。ポルトガルとのちがいは無標の構文でも前置することが出来るという点である。

Me parece que...

Se sentou.

— Me desculpe se falei demais.

Me mostre onde é.

É de manhã. Se sente a fadiga boa do sono.

Puxou uma cadeira e sentou-se.

Queria se afastar.

Não queria se afastar.

Tinha se afastado.

Não tinha ainda se afastado.

練習問題 X

読んで訳しなさい

① Em vendo que é tarde, não esperes mais por ele!

Jonas Savimbi, definitivamente, parece ter perdido o contacto com a realidade.

O Plano Económico de Emergência foi aprovado, mas nunca levado à prática.

Passei-lhe os dedos pelos cabelos. Ela reteve-mos, aceitando a carícia com docilidade. (Namora 1989, XIII, p.89)

⑤ Foi nessa época que entrou para o serviço uma rapariguinha insignificante chamada Lúcia. Tinha o lábio inferior grosso e lamuriento, que lhe dava um ar de pasmo perpétuo. (Namora 1989, II, p.14)

⑥ São estes pequenos nada que fazem do casamento à portuguesa o melhor do mundo... (Sousa 1981, p.21)

⑦ O curioso é que, quando pensava em razões concretas para acabar com a vida, não as encontrava. (Sousa 1981, p.24)

⑧ Antes era um assunto que era muito importante para mim, mas agora já não quero saber.

⑨ - Comprei-a num antiquário, já há uns meses. Se gostas dela...

- Nem pensar. Sei que há quem se aproveita da generosidade do tio, a Angé, por exemplo, mas eu recuso-me... (Rodrigues 1993, p.88)

⑩ O grupo Ezzedine al-Qassam (ala armada do Hamas) reivindicou, em comunicado ontem emitido, a morte de dois estudantes israelitas que, no domingo, haviam sido dados como desaparecidos.

⑪ Dias antes, desconhecidos haviam disparado rajadas de metralhadora contra a sua humilde residência.

11. 比較級, 最上級, 指小辞

① 形容詞と副詞の比較級

i) 優等比較級 **mais** + 形容詞・副詞 + **(do) que...** 「...より...だ」

ii) 劣等比較級 **menos** + 形容詞・副詞 + **(do) que...** 「...ほど...でない」

iii) 同等比較級 **tão** + 形容詞・副詞 + **como** (又は **quanto**) ...

「...と同じ位...だ」

Pedro é mais estudioso do que Paulo.

Paulo é mais inteligente do que estudioso.

- Sim, mas as primeiras impressões são as mais honestas.

(JP= da edição do dia 13 de Agosto de 1999 do Jornal “Público”)

A sociedade iraniana tem vindo a estar dividida entre clérigos mais conservadores e clérigos mais moderados. (DN= da edição do dia 2 de Setembro de 1999 do Jornal “Diário de Notícias”)

さらに比較級は bem, muito, ainda など**で**強められることがある。

Eles conhecem a minha tristeza, até porque a cultura europeia é muito mais antiga. (JP)

② 不規則な比較級

原級	比較級	原級	比較級
(形容詞) bom	melhor	(副詞) bem	melhor
mau	pior	mal	pior
grande	maior	(不定形容詞) muito	mais
pequeno	menor	pouco	menos

副詞と不定形容詞の比較級は変化しない。ポルトガルのポルトガル語では menor より mais pequeno が普通に用いられる。

Sorvi o primeiro gole de café. Não era pior nem melhor do que o do bar do hospital. (Namora 1989, IV, p.30)

Já te deste bem conta de que o Sol é uma das estrelas mais pequenas do Universo? (Rodrigues 1993, p.46)

Fomos mais para ouvir do que para falar. (JP)

Eu sou muito mais homem do espaço do que ele! (JP)

Quase sempre soube mais que os outros para onde soprava o vento.

③ 形容詞の相対最上級

定冠詞 + 形容詞の比較級 + de... 「…のうちで最も～だ(でない)」

Carlos é o aluno mais estudioso do Colégio.

Este aluno é o mais estudioso do Colégio.

João foi o colega menos leal que conheci.

O Daguestão e a Tchetchénia são as zonas mais complicadas. (JP)

O mês de Agosto revelou-se o mais sangrento das férias, com a morte de 153 pessoas, mais 40 do que em Julho, vítimas dos quase 11 mil acidentes de viação. (DN)

A RTP2 transmite uma recriação minuciosa do homicídio - um dos mais célebres do século na América -, através de uma minissérie de Jonathan Kaplan baseada na obra de Truman Capote. (DN)

Os fósseis moleculares que encontrámos são as mais antigas moléculas biológicas preservadas no mundo.(JP)

副詞の最上級は次のような場合を除いて通常用いられない。

Afastei-me o mais depressa que podia a caminho da paragem do autocarro.

Os resultados do referendo em Timor devem ser divulgados o mais rapidamente possível. (JP)

④ 形容詞の絶対最上級

形容詞が表す内容の程度が著しいとき絶対最上級(「とても...な」)が用いられる。絶対最上級には *muito* 「とても」、*intensamente* 「激しく」、*extraordinariamente* 「並外れて」、*excessivamente* 「過度に」、*grandemente* 「大きく」など副詞を用いたものと接尾辞による(総合的な)ものがある。総合的な絶対最上級は、接尾辞 **-íssimo** を形容詞の原級またはその語幹に加える。しかし、接辞を添加するもとの形が現代語ではなくラテン語の語源形だったり、接辞が *-rrimo*, *-imo* などになるなど不規則な形も多く存在する。辞書や文法書により形が異なることもある。しかし、総合的絶対最上級は会話などでは、感情を込めたいときなどに用いられる比較的頻度の高い形式である。また、分析的な絶対最上級としては、最近では上に挙げた強めの副詞に加えて、*super* 「超...」も会話表現でよく聞かれる形が、規範的なポルトガル語としてはまだ認めがたい。

総合的絶対最上級の形成法

i) 形容詞が母音で終わるときは、その母音を取り、*íssimo* をつける。

belo → *belíssimo* *lindo* → *lindíssimo* *triste* → *tristíssimo*

ii) 形容詞が *-l* または *-r* で終わるときは、そのまま *íssimo* をつける。

vulgar → *vulgaríssimo* *original* → *originalíssimo* *normal* → *normalíssimo*

iii) 形容詞が *-vel* で終わるときは、これを *-bilíssimo* に変える。

amável → *amabilíssimo* *terrível* → *terribilíssimo*

iv) 形容詞が *-z* で終わるときは、これを *-císsimo* に変える。

feliz → *felicíssimo* *capaz* → *capacíssimo* *atroz* → *atrocíssimo*

v) 他に *-ão* → *-aníssimo* などがある。

pagão → *paganíssimo* *vão* → *vaníssimo* *comum* → *comuníssimo*

vi) 例外

amargo → amaríssimo	fiel → fidelíssimo
amigo → amicíssimo	nobre → nobilíssimo
antigo → antiquíssimo	geral → generalíssimo
cristão → cristianíssimo	magnífico → magnificentíssimo
cruel → crudelíssimo	simples → simplicíssimo ou simplíssimo
doce → dulcíssimo	
bom → ótimo (B. ótimo)	grande → máximo
mau → péssimo	pequeno → mínimo
difícil → difícilimo	célebre → celeberrimo
fácil → fácilimo	íntegro → integérrimo
pobre → paupérrimo ou pobríssimo	livre → libérrimo

⑤ 指小辞 -inho

名詞や形容詞, 副詞などにつく接尾辞に指小辞 -inho があります. 単語そのものの意味は変えませんが, 語調を和らげ, 一種の親近感を表現に与えます. 話し言葉の, 特に打ち解けた文体でよく用いられます. 派生の方法は, 単語が子音, 鼻母音, 二重母音や母音接続で終わるものにはそのまま -zinho をつけ, それ以外の(子音+)母音で終わる単語にはその母音をとって -inho をつけます. 名詞, 形容詞の性数は指小辞の語尾 -o, -os, -a, -as で示します.

livro → livrinho gata → gatinha amor → amorzinho
pai → paizinho

練習問題XI

次の文を読んで訳しなさい

Do ponto de vista arqueológico, o projecto foi também chumbado.

Desde que nasci, há 18 anos, que não conheço um clube melhor.

- ③ Ainda ontem, não, anteontem, tive um sonho estranhíssimo. (Rodrigues 1993, p.109)
- ④ O plano foi discutidíssimo entre os militares, que não estavam de acordo quanto ao que fazer em matéria económica. (JP)
- ⑤ E há o local, que é belíssimo, um dos poucos sítios do mundo onde se faz um festival num anfiteatro com relva onde o público se pode deitar. (JP)
- ⑥ Um dia, junto à estátua do Camões, encontrei o Álvaro, acompanhado pela irmã. (Sousa 1981, p.70)

⑦ De tal modo que houve um clamor geral da opinião pública europeia contra a quase total dependência estratégica da Europa face aos Estados Unidos, o que se está a reflectir em orientações dos diferentes líderes europeus para o estudo do aumento dos gastos com a defesa nos respectivos países.

⑧ A notícia espalhou-se, ainda que Bel só tinha avisado os parentes mais chegados, o tio Constâncio e a Angé, que acaba de chegar. (Rodrigues 1993, p.30)

⑨ Um avião norte-americano e a sua tripulação continuam detidos na base militar chinesa de Hainan.

⑩ O aparelho, um avião de espionagem, aterrou de emergência em Hainan depois de uma colisão com um caça chinês.

⑪ Os Estados Unidos exigiram à China a libertação imediata dos 24 tripulantes.

⑫ E acabou por conseguir autorização para hoje visitar o avião.

⑬ O incidente está a provocar uma crise diplomática entre Beijing e a nova Administração de George W. Bush.

⑭ O primeiro-ministro do Reino Unido, Tony Blair, anunciou ontem o adiamento das eleições locais para 7 de Junho, justificando a medida pela crise de febre aftosa que afecta áreas rurais do país.

12. 未来形と過去未来形

① 未来形の変化と用法

未来形は不定詞に -ei, -ás, -á, -emos, -eis, -ão の語尾を加えて作る .例外は dizer, fazer, trazer の3つだけで , これらの動詞では不定詞から -ze- を除いた dir-, far-, trar- に変化語尾をつける .

	falar	dizer
1人称単数	falarei	direi
2人称単数	falarás	dirás
3人称単数	falará	dirá
1人称複数	falaremos	diremos
2人称複数	falareis	direis
3人称複数	falarão	dirão

未来形に対して , 人称代名詞の弱形 (me, te, lhe, nos, o, a...) や再帰代名詞が後置されると不定詞にあたる部分と語尾の間に挿入される . その場合 , 弱代名詞には前述のような語形変化 (o, os, a, as → lo, los, la, las) を伴うものがある .

lavar-me-ei lavar-se-á amá-los-emos levánta-lo-ei

(cf. não me lavarei, não se lavará, não os amaremos, não o levantarei)

「...であろう」というような未来の漠然とした事柄や、現在や未来の内容に対する推量の意味で用いられる。現代語では、比較的近い確実な未来の表現には現在形や *ir* + 不定詞を用いるのが普通なので、未来形は推量の意味で用いられることのほうが多い。

Não será, talvez, o mais típico de Hitchcock. (JP)

Esta semana estará em Évora, Olhão e Lagos.

Será o evento inaugural de uma série de acontecimentos.

Será essa uma forma de garantir que o processo, que até ao momento correu tão bem, vai chegar a bom porto.

A polícia será a única responsável pela manutenção da lei e da ordem.

Estes elementos deverão chegar ao território nos próximos dias. (DN)

② 過去未来形(条件法)の変化と用法

過去未来形は不定詞に *-ia, -ias, -ia, -íamos, -íeis, -iam* の語尾を加えて作る。例外は未来形同様 *dizer, fazer, trazer* の3つで、これらの動詞では不定詞から *-ze-*を除いた *dir-, far-, trar-* に変化語尾をつける。

	falar	dizer
1人称単数	falaria	diria
2人称単数	falarias	dirias
3人称単数	falaria	diria
1人称複数	falaríamos	diríamos
2人称複数	falaríeis	diríeis
3人称複数	falariam	diriam

未来形と同じく、動詞に後置される人称代名詞の弱形 (*me, te, lhe, nos, o, a...*) や再帰代名詞は不定詞にあたる部分と語尾の間に挿入される。前述の弱代名詞の語形変化 (*o, os, a, as → lo, los, la, las*) も同様である。

lavar-me-ia lavar-se-ia amá-los-íamos levantá-lo-ia

(cf. *não me lavaria, não se lavaria, não os amaríamos, não o levantaria*)

過去未来形は過去のある時点を起点にして、それから後に起こるとみなされる事柄の表現に用いられる。過去から見た未来形であり、「...するであろうと...」という表現や過去の事柄に対する推量として用いられる。また、「...するであろうに」といった意味で事実と反したり、実現可能性が低い条件のもとで生じる事柄を表現する事がある。このことから過去未来形は条件法とも呼ばれる。一定の条件のもとでの実現可能性なので、命令や願望などを表現するときに、命令形や直説法現在に代えて、この時制を用いるとより丁寧な依頼、控えめな願望の表現になる。ポルトガルのポルトガル語では過去未来形は直説法未完了過去形に置き換えることができる。

Mesmo assim, Kleinrock declarou convictamente que faria tudo outra vez. (JP)

Disse que iria falar com David Dein, director-executivo do Arsenal. (JP)

Mas Smith disse-lhe que só em Junho a Comissão de Remunerações poderia oferecer-lhe novo contrato. (JP)

No seu íntimo, estaria o desejo de, mais uma vez, se desinstalar, indo para Marrocos anunciar o Evangelho e, eventualmente, ali sofrer o martírio. (JP)

O Rei apareceu-me num sonho e disse-me que eu deveria fundar uma igreja e espalhar a boa nova. (JP)

Ferguson queria um contrato por seis épocas, porque chegaria assim aos 60 anos, com salário ao nível mais alto da Premier League. (JP)

Assim, o que poderia ser uma área perfeita para o turismo e lazer transformou-se no pesadelo de qualquer visitante que se aproxime das suas margens, ou mesmo para qualquer habitante das freguesias mais próximas. (JP)

E foi no mosteiro de Coimbra que começou a escrever os seus sermões, reveladores de uma abordagem que hoje se definiria como interdisciplinar. (JP)

Perante a situação actual, gostaria de voltar a pintar Timor? (JP)

③ saber と conhecer 「知る」の用法

saber は「～であることを知っている」(内容), conhecer は「(人や, 物, 場所などを知っている)(対象)の意味に使われる. また, saber は, 次に不定詞を直接従え, 「～出来る(～する術を心得ている)」の意味で使われることもある.

Sabemos muito bem que ele tem razão.

Sabe nadar desde miúda.

Conheço aquele rapaz: é meu vizinho.

O jardineiro conhece muitas espécies de planta.

José, conheces bem Lisboa?

Vamos jantar àquele restaurante porque eu conheço a sua cozinha.

Luís não sabe o que quer, por isso muda de opinião tantas vezes.

Sei o que o teu pai significa para ti. (Rodrigues 1993, p.16)

「味がする」の意味の saber の用法も覚えておくと便利である.

O arroz está-me a saber muito mal.

地名と定冠詞

原則として, 国名, 地方名, 大陸, 山, 川, 大洋, 群島などを示す地名には定冠詞をつける.

o Brasil o Japão a Alemanha a Rússia a China a Coreia (B. Coréia)

a Sibéria o Nordeste a África os Alpes o Amazonas o Lemano o Atlântico
o Pacífico os Açores

国名や地方名の中にはふつう定冠詞が付かない例外がある .

Portugal Angola Moçambique Cabo Verde São Tomé e Príncipe Macau
Timor Andorra Israel São Salvador Aragão Castela Leão

ヨーロッパ諸国の国名の中には Espanha, França, Inglaterra, Itália などのように
前置詞がついたとき無冠詞になることがあるものがある .

都市, 地名, 島などを表す単語にはふつう定冠詞はつかない .

Lisboa Paris Londres Colónia (B.Colônia) Arruda Cuba Malta

冠詞のつく例外 : a Guarda, o Porto, o Rio de Janeiro, a Figueira da Foz, o Cairo, a
Haia, o Havre, a Córsega, a Madeira, a Sardenha, a Sicília

練習問題

次の文を読んで訳しなさい .

- ① Estou a escrever de madrugada e começo a sentir-me fatigado. (Namora 1989, I, p.13)
- ② Saí do quarto discretamente, sentindo-me um malfeitor que se escapa em bicos de
pés antes que alguém venha surpreendê-lo. (Namora 1989, XX, p.132)
- ③ Alguns investigadores acreditam que o ADN (património genético) do vírus da varíola
permitirá a compreensão de outros vírus mortíferos. (ADN= Ácido DesoxirriboNucleico)
- ④ O aumento de um ponto percentual na taxa de juro corresponderia a uma subida da
prestação mensal entre os 2,3 por cento para um empréstimo com um prazo de cinco
anos e os 11,3 por cento para um empréstimo com 30 anos. (JP)
- ⑤ Um militante do movimento integrista Jihad Islâmica, Mohammed Abdel Al, de 26
anos, foi ontem morto quando helicópteros israelitas pulverizaram a sua viatura, em
Rafah, no Sul da Faixa de Gaza.

13. 接続法の他の時制, 関係代名詞, 疑問詞

① 接続法完了過去

接続法完了過去は複合時制で *ter* の接続法現在に過去分詞(無変化)を加えたも
のである。 *falar* を例にとると次のように変化する。

(1人称単数)	tenha falado	(1人称複数)	tenhamos falado
(2人称単数)	tenhas falado	(2人称複数)	tenhais falado
(3人称単数)	tenha falado	(3人称複数)	tenham falado

主文の動詞が直説法現在, またはそれに準ずる文脈で, 接続法が表現する内容がそれ以前に起きているときには接続法完了形が用いられる.

Não creio que ele tenha conseguido achar respostas para suas dúvidas.

É possível que tenha passado por aqui.

Espero que não a tenha visto depois disso.

Será possível que tenhas esquecido os bons momentos que passámos juntos?

(Sousa 1981, p.106)

② 接続法未完了過去

(規則動詞)

	falar	vender	dormir
	(falaram)	(venderam)	(dormiram)
1人称単数	falasse	vendesse	dormisse
2人称単数	falasses	vendesses	dormisses
3人称単数	falasse	vendesse	dormisse
1人称複数	falássemos	vendêssemos	dormíssemos
2人称複数	falásseis	vendêsseis	dormísseis
3人称複数	falassem	vendessem	dormissem

(不規則動詞)

	ser / ir	ter	fazer
	(foram)	(tiveram)	(fizeram)
1人称単数	fosse	tivesse	fizesse
2人称単数	fosses	tivesses	fizesseis
3人称単数	fosse	tivesse	fizesse
1人称複数	fôssemos	tivêssemos	fizêssemos
2人称複数	fôsseis	tivêsseis	fizêsseis
3人称複数	fossem	tivessem	fizessem

接続法未完了過去の変化形は直説法完了過去の語幹(ラテン語の完了幹)を基に作られる. 直説法完了過去の3人称複数形から -ram をとり, -sse, -sses, -sse, -ssemos, -sseis, -ssem をつける. 1人称複数形と2人称複数形では, 幹末の母音が語末から3番目になるのでアクセント記号を使わなければならない. アクセント記号の使い方は á, í, ô で, 幹末が e の場合, 規則動詞では ê, 不規則動詞では é である.

接続法未完了過去は, 主文の動詞が直説法完了過去や未完了過去など過去形であるときに接続法が用いられる従属文の中で用いられる. この場合, 接続法が表現する事柄は主文の動詞が表す内容と, 過去という時間の軸の上で同時に位置付けられる.

Era preciso que ele fosse muito parvo para acreditar em tal coisa!

(cf. É preciso que ele seja muito parvo para acreditar em tal coisa!)

Como era possível que ele estivesse no estrangeiro?

(cf. Como é possível que ele esteja no estrangeiro?)

(cf. Como é possível que ele tenha estado no estrangeiro?)

Talvez ele tenha falado com o padre ontem.

Talvez ele falasse com o padre ontem.

Ao contrário de alguns preconceitos que possa haver, nunca fui pessoa que se adaptasse a nada.

Procurei nas redondezas uma cervejaria onde pudesse beber duas canecas seguidas.
(Namora 1989, XII, p.82)

過去未来形には命令や自己の願望などを丁寧に表現するという用法がある。ポルトガルのポルトガル語では、代用形として直説法未完了過去が用いられる。

Queria que levasse o meu vestido. (cf. Quero que leve o meu vestido.)

Queria que compreendesse o problema. (cf. Quero que compreenda o problema.)

Como se + 接続法未完了過去 「あたかも...であるかのように」

O homem procedia como se fosse ele o dono da casa.

③ 接続法過去完了(大過去)

接続法過去完了は複合時制で *ter* または *haver* の接続法未完了過去に過去分詞(無変化)を加える。 *falar* を例にとると次のように変化する。

1人称単数	tivesse falado	houvesse falado
2人称単数	tivesses falado	houvesse falado
3人称単数	tivesse falado	houvesse falado
1人称複数	tivéssemos falado	houvéssemos falado
2人称複数	tivésseis falado	houvésseis falado
3人称複数	tivessem falado	houvessem falado

主文の動詞が過去形、またはそれに準ずる文脈で、接続法が表現する内容がそれ以前に起きているときには接続法過去完了が用いられる。

Como era possível que ele tivesse estado no estrangeiro?

Lúisa olhou em roda, como se um raio tivesse atravessado o quarto.

Era impossível que o Ramos lhe houvesse contado a ela.

Que importava que uma mulher tivesse desdenhado o que eu lhe oferecera?

④ 関係詞と疑問詞

I. 関係詞

変 化 語				不変化語
男 性		女 性		
単 数	複 数	単 数	複 数	
o qual cujo quanto	os quais cujos quantos	a qual cuja quanta	as quais cujas quantas	que quem onde

	先行詞が人		先行詞が人以外	
	前置詞なし	前置詞付き	前置詞なし	前置詞付き
制限的用法	que	quem o/a qual os/as quais	que	que o/a qual os/as quais
記述的用法	que o/a qual os/as quais	quem o/a qual os/as quais	que o/a qual os/as quais	que o/a qual os/as quais

que, quem, oqual

1) 先行詞が人

① 制限的用法

As artistas **que** ontem actuaram não são muito conhecidas.

Falei com o professor **que** ensina matemática ao meu filho.

Este é o rapaz **com quem** vivo.

O Sr. Esteves é a pessoa **perante a qual** deve ser passada a procuração.

② 記述的用法

A Ana, **que** esteve hospitalizada, voltou para casa.

Entrevistados os candidatos à bolsa, foram escolhidos cinco, **os quais** foram posteriormente chamados para uma nova entrevista.

O amigo da Teresa, **com quem** fui ao Alentejo, é muito simpático.

Os professores, **entre os quais** se encontrava a directora, reuniram-se em conselho disciplinar.

→ 前置詞との組み合わせに関しては

o qual : desde, durante, perante, entre, mediante, segundo...

それ以外が一般に que, quem と、ただし sem quem は普通現れない。

また、A pessoa **a quem** me dirigi と A pessoa **à qual** me dirigi では、前者のほうが古典的という。

2) 先行詞が人以外

① 制限的用法

Os programas **que** eu vi esta semana foram bons.

Não imagina os trabalhos **por que** passei para conseguir o visto de entrada.

Já expirou o prazo **durante o qual** era possível entregar os requerimentos.

② 記述的用法

O filme, **que** vimos ontem, ganhou o Óscar.

Os lucros distribuídos pela empresa no final do ano, **os quais** atingiram taxas de 12 %, deixaram os accionistas espantados.

Este computador, **com que** trabalho há tantos anos, é IBM compatível.

O período de inscrição, **durante o qual** era possível entregar os candidaturas, já terminou.

Curió sentiu estar atravessando perigosamente aquela linha **além da qual** encontravam-se a ingratidão, a deslealdade, a hipocrisia. (Amado 1987, p.83)

3) その他

Quem rouba um pão é ladrão,

Quem rouba um milhão é barão!

Convida **quem** quiseres!

Achou-se mais prudente que eu me safasse pelos fundos do prédio, **o que** fiz tão depressa quanto pude.

Estive em Salvador **onde** vi algumas duzentas igrejas.

Comemos a carne nos pratos **em que** tinha sido servido o peixe.

(onde = em que, no qual... 固有名詞の時は onde のみ)

Vi-a no dia **em que** a senhora foi votar.

cujo, quanto

Uma peça **cujo** êxito ultrapassou todas as previsões.

Este é o amigo **em cuja** companhia passei as férias.

Disse **tudo quanto** sabia.

II. 疑問詞

que

Que se passa? / Que é que se passa?

O que se passa? / O que é que se passa? / Passa-se o quê?

Que brinquedo preferem eles?

De que é que eles falam? / De que falam eles?

Por que caminho é que ele foi?

quem

Quem chegou? / Quem é que chegou?
De quem é que falam? / De quem falam eles?
Por quem é que ela chorou?

qual

Qual é a sua caneta?
Qual dos meninos sabe responder?
Quais professores?

quanto

Quantos livros tem você?
Quanto é?
Quantas pessoas é que vêm?

onde

Onde estão os livros?
De onde o senhor vem?

quando

Quando é que a encomenda chegou?

como

Como é que ele pôde fazer uma coisa assim?

porque

: Porque (é que) (+動詞)? / Por que (+名詞)(é que)...? — Porque

Porque sucedem coisas destas?
Porque é que chegaram tão tarde?
Por que razão devemos cumprir cegamente todas as normas ditadas por Bruxelas?
(cf. Brasil: Por que...? — Porque)

練習問題XI

(1) 次の動詞の活用の練習をしましょう。

demorar prestar apreciar atirar exercer habituar imaginar permitir
botar prejudicar produzir cozinhar preocupar saltar defender evoluir
roubar virar estragar frequentar atravessar bastar comparar cumprir

(頻度リスト946位から1110位までの中に入る動詞を頻度順に並べたもの)

(2) 次の文を読んで訳しなさい。

- ① Talvez me estivesse a tornar egoísta. (Sousa 1981, p.71)
- ② Acendi novo cigarro para que as ideias se arrumassem. (Namora 1989, X, p.61)
- ③ Há quem venha aqui todos os dias de manhã ou ao fim da tarde para pescar.
- ④ Há um local donde se consegue avistar o mar, para o qual nos encaminhámos
- ⑤ A Henriqueta entrou resmungando que se esquecera do detergente e pediu-me que fosse à droguaria comprá-lo. (Sousa 1981, p.52)
- ⑥ Seria possível que ela não soubesse que eu tinha quase três vezes a sua idade?
(Sousa 1981, p.116)
- ⑦ Ela, pelo menos, estava disposta a não voltar a ver Curió, por mais que sofresse com essa decisão. (Amado 1987, p.89)
- ⑧ Desconfiei que ela tinha uma perna mais curta do que a outra, embora soubesse fazer-nos crer que não era assim. (Namora 1989, VI, p.36)
- ⑨ De repente, cai um breve aguaceiro, contra o qual Bel não se precatou. (Rodrigues 1993, p.138)
- ⑩ Spínola percebeu que não havia saída possível, a alternativa era a continuação da guerra e isso a população não aceitaria nunca.
- ⑪ De acordo com os projectos, ainda numa fase inicial, haverá também espaço para três ou quatro estações similares.
- ⑫ Na sala havia ainda três quadros do pintor. Um surrealismo de pesadelo. A meu ver, medíocres, embora eu não pudesse estar seguro dos meus gostos artísticos, pelo simples motivo de que nunca lhes dera muita atenção. (Namora 1989, XVII, p.107)
- ⑬ Ainda me lembro do assalto de carnaval, em que nos conhecemos, na casa de umas meninas feias, podres de ricas, cujo pai era subsecretário de qualquer coisa num governo de Salazar. (Rodrigues 1993, p.150)
- ⑭ A delinquência juvenil, associada à criminalidade de grupo, é a principal preocupação do Governo.
- ⑮ O Relatório de Segurança Interna de 2000 aponta claramente para um aumento da criminalidade associada aos menores.
- ⑯ Só o ano passado foram identificados mais 500 jovens do que em 1999, revelando uma tendência dos últimos anos.
- ⑰ "Não é aceitável que um membro do Governo minta aos portugueses e à Assembleia da República", sentenciou Durão Barroso, presidente do PSD.
- ⑱ Os dados divulgados "não são verdadeiros", constatou, por seu turno, o PCP.
- ⑲ Repito que nunca, directa ou indirectamente, recebi dinheiro para fins pessoais.

14. 接続法未来と仮定表現, 不定形容詞

① 接続法未来

	falar	vender	dormir	ter
	(falaram)	(venderam)	(dormiram)	(tiveram)
1人称単数	falar	vender	dormir	tiver
2人称単数	falares	venderes	dormires	tiveres
3人称単数	falar	vender	dormir	tiver
1人称複数	falamos	vendermos	dormirmos	tivermos
2人称複数	falardes	venderdes	dormirdes	tiverdes
3人称複数	falarem	venderem	dormirem	tiverem

直説法完了過去の3人称複数形から *-ram* を取り, これに *-r, -res, -r, -rmos, -rdes, -rem* という変化語尾を付ける. 規則動詞では人称不定詞と同じ形になるが, 不規則動詞では語幹が別の形になる.

接続法未来形は仮定表現の条件「～したら, ～したときに」の表現に広く用いられる.

Quando passar por Caxias, vou visitar a Ana.

Se ele aprender os verbos, já fico contente.

A fábrica só compra as peças se estas chegarem até terça-feira.

Fico grata aos eventuais amigos que me ajudarem.

Façam como puderem.

Por favor atenda-nos logo que puder.

Não há lei nenhuma que possa obrigar um cientista a revelar os documentos das suas pesquisas, enquanto não estiverem concluídas.

Mas, se vocês esperarem mais uns dez minutos, podem ver uma coisa que nunca viram.

Se as taxas de juro subirem, as famílias com empréstimos de prazos mais longos serão as mais afectadas. (JP)

② 仮定表現

i) 仮定表現(1) 「...したら...する」

「～したら～する」という現実的な仮定表現では条件をあらわす部分には接続法未来形が, 帰結の部分には直説法の未来形や現在形, *ir* + 不定詞などが用いられる.

Se andarem mais depressa, chegrão a tempo.

, chegam a tempo.

, vão chegar a tempo.

口語的表現では条件節の表現に接続法未来の代わりに直説法現在が用いられることもあるが、接続法未来を用いるのがより普通の形である。

Se o Estado me paga para não fazer nada, e se a profissão só me obriga a estudar coisas idiotas, eu fico com o tempo livre para ocupá-lo noutras coisas, e com o espírito livre para pensar nas minhas pesquisas.

しかし、直説法現在が用いられる場合、多くは対比や強調の意味合いで用いられているものが大部分で、厳密には仮定表現とは言えないものがほとんどである。

Se eu sou como sou, é porque sou assim mesmo.

Se eu ficava em casa, lá aparecia ele. Se eu ia a casa do Mesquita, lá ia ele.

ii) 仮定表現 (2) 「もし... であつたなら... するだろうに」

現在の事実に反し、実現する可能性が比較的低いとみなされる内容の仮定表現では、条件節に接続法未完了が、帰結節には直説法過去未来形または直説法未完了過去形が用いられる。ブラジルのポルトガル語では過去未来形のほうが広く用いられる。

Se eu tivesse bastante dinheiro, compraria uma casa.

, comprava uma casa.

- Mas, se o teu pai fizesse a análise, ficávamos sabendo.

Se eu e o meu irmão publicássemos isso com os nossos nomes, quem é que acreditava?

E se naquele território nocturno, de alegria barata, existisse cronista social, certamente registraria o facto cercando-o de adjectivos e exclamações. (Amado 1987, p.102)

Não fosse ele ligeiro de corpo e estaria marcado no rosto. (Amado 1987, p.39)

iii) 仮定表現 (3) 「もし... であつたなら... しただろうに」

過去の事実に反する内容の仮定表現では、条件節に接続法過去完了が、帰結節には直説法過去未来完了(助動詞 *ter* または *haver* の過去未来形と過去分詞からなる完了形)または直説法過去完了が用いられるのが普通です。しかし、実際には、帰結の部分が「現在の事実に反する内容になる」場合があります、帰結節では直説法過去未来形が用いられる場合もあります。

Se eu tivesse tido bastante dinheiro, teria comprado uma casa.

(houvesse tido) , tinha comprado uma casa.

Se o corpo não tivesse aparecido ontem, a ave-maria hoje seria bem diferente.

③ 不定形容詞, 不定代名詞

不定形容詞				不定代名詞
男性単数	男性複数	女性単数	女性複数	alguém ninguém tudo outrem nada algo
algum	alguns	alguma	algumas	
nenhum	nenhuns	nenhuma	nenhumas	
todo	todos	toda	todas	
outro	outros	outra	outras	
muito	muitos	muita	muitas	
pouco	poucos	pouca	poucas	
certo	certos	certa	certas	
vário	vários	vária	várias	
tanto	tantos	tanta	tantas	
qualquer	quaisquer	qualquer	quaisquer	
cada				

– Tens bolos na caixa azul. Queres algum?

Estes andares estão degradados. Nalguns chove como na rua.

No exame de matemática não fez coisa alguma.

Não passou nenhum autocarro desde que cheguei à paragem.

(= Nenhum autocarro passou ...)

Não ouvimos coisa nenhuma daquilo que o professor disse.

Ficava horas à janela, a ver se alguém conhecido passava.

E se esse alguém existe, é porque existo.

Ninguém arredava pé de junto do presidente.

Felizmente, o médico disse que não era nada de grave.

Todos os operários fizeram greve.

Quase todos os portugueses estão desiludidos com a política.

Ao pobre rapaz, depois da queda, ficou-lhe a doer o corpo todo.

Toda a família partiu para férias.

A Mónica passou toda a tarde a escrever.

O Carlos faz tudo o que quer.

Um dos feridos salvou-se, mas o outro ferido morreu.

Além de me dizer que ia ao cinema, disse-me outra coisa que agora não me lembro.

Foi decidido pelo diretor, e não será por outrem revogado.

Certas crianças não se adaptam completamente à escola.

O Marco fez um cálculo certo.

Comprámos vários móveis para a nossa nova casa.

Miguel, compraste tantas coisas, não sei para quê!

No verão, em qualquer praia há imensa gente.

Não se trata de um homem qualquer, ele é um génio!

Cada cliente pagou a sua conta.

Cada qual sabe dos seus problemas.

O Luís está cada vez mais preguiçoso.

④ 直説法現在における語幹母音

	第1変化	第2変化	第3変化 (a)	第3変化 (b)
原形不定詞	LEVAR	BEBER	SERVIR	FRIGIR
1人称単数	levo [ɛ]	bebo [ɛ]	sirvo [i]	frijo [i]
2人称単数	levas [ɛ]	bebes [ɛ]	serve [ɛ]	freges [ɛ]
3人称単数	leva [ɛ]	bebe [ɛ]	serve [ɛ]	frege [ɛ]
1人称複数	levamos [ə]	bebemos [ə]	servimos [ə]	frigimos [i]
2人称複数	levais [ə]	bebeis [ə]	servis [ə]	frigis [i]
3人称複数	levam [ɛ]	bebem [ɛ]	servem [ɛ]	fregem [ɛ]

原形不定詞	LOGRAR	MOVER	DORMIR	SUBIR
1人称単数	logro [ɔ]	movo [o]	durmo [u]	subo [u]
2人称単数	logras [ɔ]	moves [ɔ]	dormes [ɔ]	sobes [ɔ]
3人称単数	logra [ɔ]	move [ɔ]	dorme [ɔ]	sobe [ɔ]
1人称複数	logramos [u]	movemos [u]	dormimos [u]	subimos [u]
2人称複数	lograis [u]	moveis [u]	dormis [u]	subis [u]
3人称複数	logram [ɔ]	movem [ɔ]	dormem [ɔ]	sobem [ɔ]

第1変化動詞で、語幹の母音が「e」または「o」で綴られる口母音のものでは次のものを除き語幹にアクセントのある活用形の幹母音は [ɛ] または [ɔ] となる。

- i) この e, o が二重母音の一部をなすもの. cheirar, pernoitar, dourar...
- ii) 次に鼻子音 [m], [n], [ɲ] が後続する場合. remar, ordenar, empenhar...
- iii) e の場合で、次に口蓋子音 [ʃ], [ʒ], [ʎ] が後続する場合. fechar, desejar, aparelhar... (ただし, invejar, embrechar, frechar, vexar は別でこれらでは語幹の母音は常に [ɛ] (ブラジルでは [e]) となる。
- iv) -oar に終わる動詞では [o] が現れる. voar
- v) chegar とその複合形 (achegar, conchegar...) ではアクセントのある活用形では [e] が現れる。

ブラジルのポルトガル語では鼻子音の前の強勢位置に開母音 [ɛ] [ɔ] は現れないという音声レベルの制約があるので temer, comer のような動詞では母音交替は見られない。

第3変化には次のような変化をするものもある。

原形不定詞	POLIR	AGREDIR	MEDIR
1人称単数	pulo	agrido	meço [ɛ]
2人称単数	pules	agrides	medes [ɛ]
3人称単数	pule	agride	mede [ɛ]
1人称複数	polimos	agredimos	medimos [ə]
2人称複数	polis	agredis	medis [ə]
3人称複数	pulem	agridem	medem [ɛ]

polir 型には sortir, agredir 型には denegrir, prevenir, progredir, regredir, transgredir などが, medir 型には pedir despedir, impedir などがある。

練習問題 X III

次の文を読んで訳しなさい。

① Amanhã, os cortes de trânsito começam às 9h e tem final previsto para as 13h.

Decida ele o que decidir, os nossos caminhos estão próximos.

Embora a conheça há pouco tempo, é como se a conhecesse há muito.

④ Sempre recusei uma intervenção cirúrgica, mas se for necessária, terei de a fazer.

⑤ E quanto mais durava a observação mais sentia que esta Clarisse era uma desconhecida. (Namora 1989, X, p.62)

⑥ Com o tempo a igreja deixará de ter esta função e, se Timor se tornar uma democracia, serão políticos tradicionais a assumir esse papel.

15. 人称不定詞, その他の時制(複合時制)

不定詞は動詞のもとになる形で「...すること」を意味する。多くの言語では、通常、不定詞は(...が)にあたる人称と数, 法, 時制などに関して中立的な形である。ところがポルトガル語には、このような「非人称」の不定詞のほかに、人称語尾がついた「...すること」を意味する人称不定詞と呼ばれるものがある。

人称不定詞は不定詞に人称語尾を付ける。例外はない。

	falar	vender	dormir	ter
1人称単数	falar	vender	dormir	ter
2人称単数	falares	venderes	dormires	teres
3人称単数	falar	vender	dormir	ter
1人称複数	falamos	vendermos	dormirmos	termos
2人称複数	falardes	venderdes	dormirdes	terdes
3人称複数	falarem	venderem	dormirem	terem

人称不定詞を用いる例の多くは従属文に書きかえることが出来る。人称不定詞は、法と時制に関する情報を含んだ定動詞形によらない従属文の表現である。その意味で、人称不定詞を準定詞と呼ぶことには一定の根拠がある。

Não seria preferível telefonarmos primeiro, de qualquer parte?

(= Não seria preferível que telefonássemos primeiro, de qualquer parte?)

Acho que também são horas de irmos para casa.

(= Acho que também são horas de que vamos para casa.)

Ele já me pediu para o Pedro ficar na minha casa.

(= Ele já me pediu que o Pedro ficasse na minha casa.)

- O melhor é deitarmos fora esta porcaria que a gente não sabe o que é.

- Não vale a pena fazeres essa cara.

- Minha tia disse-me que os senhores estão a pensar em irem para Lisboa. É verdade?

- O pior que pode acontecer-nos é sermos presos pela polícia.

Mas todos os cientistas esperam sempre a hora de serem mártires.

不定詞が表現する事柄が、主文の動詞の内容より前におきていることを示すには完了不定詞を用いる。完了不定詞は *ter* または *haver* の不定詞に過去分詞(無変化)を加える。*ser* の不定詞に過去分詞を加えると受動不定詞になる。この過去分詞は性数一致する。さらに、*ter* または *haver* の不定詞に *sido*+過去分詞(性数一致)で完了受動不定詞も可能である。これらはすべて人称不定詞にして使うことも出来る。

	完了不定詞		受動不定詞
非人称形	<i>ter vendido</i>	<i>haver vendido</i>	<i>ser vendido(s)/-a(s)</i>
1人称単数	<i>ter vendido</i>	<i>haver vendido</i>	<i>ser vendido/-a</i>
2人称単数	<i>teres vendido</i>	<i>haveres vendido</i>	<i>seres vendido/-a</i>
3人称単数	<i>ter vendido</i>	<i>haver vendido</i>	<i>ser vendido/-a</i>
1人称複数	<i>termos vendido</i>	<i>havermos vendido</i>	<i>sermos vendidos/-as</i>
2人称複数	<i>terdes vendido</i>	<i>haverdes vendido</i>	<i>serdes vendidos/-as</i>
3人称複数	<i>terem vendido</i>	<i>haverem vendido</i>	<i>serem vendidos/-as</i>

	完了受動不定詞	
非人称形	<i>ter sido vendido(s)/-a(s)</i>	<i>haver sido vendido(s)/-a(s)</i>
1人称単数	<i>ter sido vendido/-a</i>	<i>haver sido vendido/-a</i>
2人称単数	<i>teres sido vendido/-a</i>	<i>haveres sido vendido/-a</i>
3人称単数	<i>ter sido vendido/-a</i>	<i>haver sido vendido/-a</i>
1人称複数	<i>termos sido vendidos/-as</i>	<i>havermos sido vendidos/-as</i>
2人称複数	<i>terdes sido vendidos/-as</i>	<i>haverdes sido vendidos/-as</i>
3人称複数	<i>terem sido vendidos/-as</i>	<i>haverem sido vendidos/-as</i>

Nadine agradece Miguel por ter falado a verdade.

Minha tia - e eu nunca pensara nisso - devia ter sido realmente lindíssima; mas agora, e escondida dentro dela, só havia uma menina graciosa e gentil.

Quando cheguei a casa, não havia ninguém na sala de jantar, nem sinais de ter sido posto almoço.

Um tio meu costumava escrever todos os anos uma revista, para ser representada pelos banhistas da praia em que ele veraneava.

不定詞を用いた熟語的表現に *ao* + 不定詞 「...する(した)ときに」がある。また、不定詞や現在分詞は不定詞構文や分詞構文を構成する。ほかに、*ir* や *vir* は現在分詞を直接従えて、「徐々に...していく(くる)」という表現に用いられる。

Ao ver-me, ela percebera que de mim é que gostava.

Ao voltarmos a esquina, uma pedra partiu o vidro traseiro, e passou rente à minha cabeça.

Ao aproximar-me da praia, a primeira pessoa que, contrariadamente, vi foi o Rodrigues.

A produção do vinho tinto vai aumentando cada ano.

Quase a alcançarem a casa onde ela mora, Constâncio pára. (Rodrigues 1993, p.43)

Ameaçados de irem para a cidade a pé, os tiras terminam por requisitar um caminhão vazio, de volta do aeroporto. (Amado 1987, p.209)

Mais tarde no meu quarto, despindo-me, senti-me triste, infinitamente.

Passado o minuto decisivo, sobreveio demorado ataque de soluços.

Acostumadas a acordar tarde, nada sabiam da vida cidadina naquela hora madrugadora. (Amado 1987, p.98)

「...であろう」という直説法未来形や「...したのである」との直説法過去未来形(条件法), さらに仮定文の条件節で用いられる接続法未来形には, 助動詞に *ter* や *haver* を用いた完了形がある。動詞の表す内容が完了していることを強調するのに用いられ, それぞれ, 直説法未来完了, 直説法過去未来完了, 接続法未来完了と呼ばれる。

直説法未来完了 : *terei* (*haverei*) *falado*, *terás falado*, *terá falado*...

直説法過去未来完了 : *teria* (*haveria*) *falado*, *terias falado*, *teria falado*...

接続法未来完了 : *tiver* (*houver*) *falado*, *tiveres falado*, *tiver falado*...

E isto repetiu-se várias vezes, ou me pareceu que se repetia, até que *terei* adormecido de vez, e acordei com a ideia fixa de falar com os espanhóis e com meu tio.

O nojo que sentimos da sujidade e da desordem dos outros não é diverso se «eles» forem ou tiverem sido nós próprios.

16. 話法

発話をそのままの形で引用する直接話法から間接話法へ書きかえるためには、時制や法の調整、主語や目的語、時間や場所などを示す語句を置き換える。この最後のものについては次のような例を挙げることが出来る。

aqui ⇒ ali ; cá ⇒ lá ; ontem ⇒ na véspera / no dia anterior
amanhã ⇒ no dia seguinte ; na semana que vem ⇒ na próxima semana
na quinta-feira ⇒ na quinta-feira / na quinta-feira seguinte / na próxima quinta-feira
para a semana ⇒ na próxima semana ; vir ⇒ ir ; trazer ⇒ levar

ただし、このような語は間接話法の文が発話される時点や場所との関係で用いられることもあるので注意が必要である。また、従属文を導く動詞に次のようなものがある。

- ① dizer, perguntar, referir, repetir, responder, retorquir... (中立的)
- ② balbuciar, concordar, exigir, mandar, pedir, proibir, prometer, reclamar, recomendar, recusar, sugerir, suplicar... (発話者の態度を示すもの)
- ③ admitir, confessar, pretender, reconhecer... (発話者についての評価を含むもの)

以下、いくつかの書き換えの例を挙げる。

- A senhora vai sair — disse ela olhando-o muito.
⇒ Ela disse olhando-o muito que a senhora ia sair.
- Preciso de dinheiro — disse o capitão.
⇒ Disse o capitão que precisava de dinheiro.
- Não achas melhor tirar esse poncho? — perguntou-lhe Rodrigo.
⇒ Perguntou-lhe Rodrigo se não achava melhor tirar aquele poncho.
- Sou a Julieta — disse, hesitante.
⇒ Disse, hesitante, que era a Julieta.
- Nem banho tomei, ela esclarecia.
⇒ Ela esclarecia que nem banho tinha tomado.
- Que será feito do senhor padre Brito? perguntou D.Joaquina Gansoso.
⇒ Perguntou D.Joaquina Gansoso que seria feito do senhor padre Brito.
- Não faça escândalo — disse a outra.
⇒ Disse a outra que não fizesse escândalo.
- Não abro a porta a estas horas a ninguém — disse Gracia.
⇒ Disse Gracia que não abria a porta àquelas horas a ninguém.
- Isso é um número muito comprido, respondeu Cesária.
⇒ Cesária respondeu que aquilo era um número muito comprido.
- Aqui amanhece muito cedo — disse Sales.
⇒ Disse Sales que ali amanhecia muito cedo.

- Foi um tempo velhaco — disse, concordante e enfastiado.
⇒ Disse, concordante e enfastiado, que tinha sido um tempo velhaco.
- «Lá é bom?» — perguntei.
⇒ Perguntei se lá era bom.

(例文出典)

Amado, Jorge (1987). *Os pastores da noite*. 43.^aed. Rio de Janeiro:Record.

(A primeira edição foi publicada em 1964.)

Marques, Helena (1992). *O último cais*. Lisboa:Círculo de Leitores.

Namora, Fernando (1989). *Domingo à Tarde*. Lisboa:Publicações Europa-América.

(Livros de Bolso N°19)

Rodrigues, Urbano Tavares (1993). *Deriva*. Lisboa:Publicações Europa-América

Sousa, Américo Guerreiro de (1988). *A morte das baleias*. Lisboa:Edições «O Jornal».

Sousa, Américo Guerreiro de (1981). *Os cornos de Cronos*. Lisboa:Livraria Bertrand.